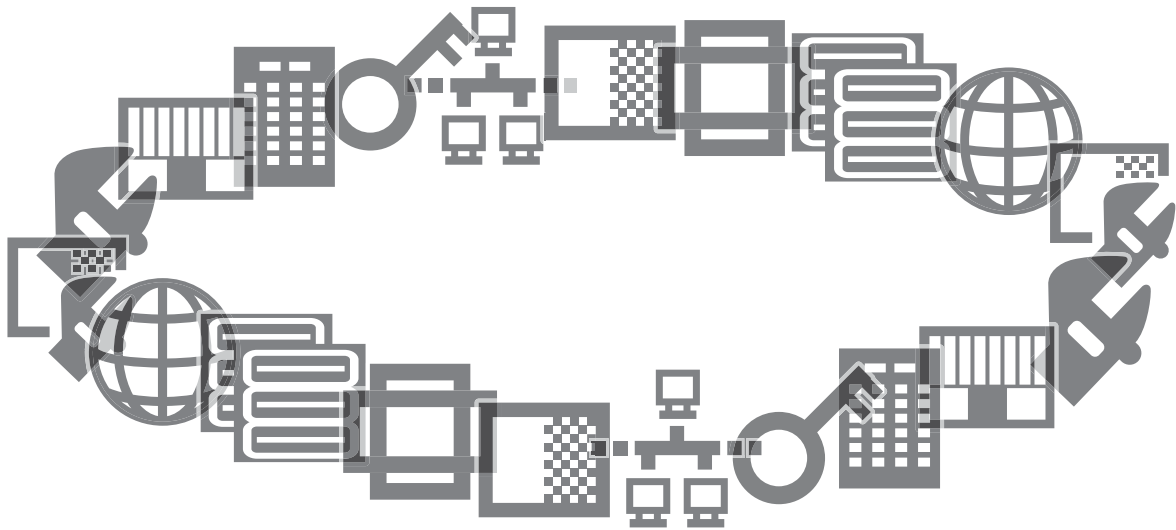


機能説明書

DLP™ 方式プロジェクター 業務用

品番 PT-DZ6710
PT-DZ6700
PT-DW6300
PT-D6000
PT-D5000



- この説明書は、上記品番末尾のアルファベットの有無に関わらず共用です。
 - Lなし：レンズ付き、Lあり：レンズ別売り
- この説明書は、本機各種機能の使い方を詳しく説明したものです。
基本的な使い方、点検と部品交換などについては取扱説明書をご覧ください。

もくじ

準備

設置する	4
投写関係	4
アジャスター脚の調整	10
接続する	11
接続の前に	11
映像機器との接続(例)	12
コンピューターとの接続(例)	12

調整と設定

オンスクリーンメニューについて	13
メニュー画面の操作方法	13
オンスクリーンメニュー	14
メインメニュー	14
メニュー項目	14
「映像」について	16
映像モード	16
ピクチャー	16
黒レベル	16
色の濃さ	16
色あい	17
色温度設定	17
白ゲイン	17
システムデイルイトビュー	18
シャープネス	18
ノイズリダクション	18
AI	18
システムセレクター	19
「位置調整」について	20
シフト	20
アスペクト	20
ズーム	21
クロックフェーズ	21
幾何学歪補正 (PT-DZ6710のみ)	22
台形補正 (PT-DZ6700、PT-DW6300、PT-D6000、PT-D5000のみ)	23
「アドバンスドメニュー」について	24
デジタルシネマリアリティ	24
ブランキング	24
入力解像度	25
クランプ位置	25
エッジブレンディング*	25
ラスターポジション	26
「表示言語」について	27
表示言語を切り換える	27

「表示オプション」について	28
カラーマッチング*	28
カラーコレクション	29
コントラストモード*	29
スクリーン設定	29
入力自動セットアップ	29
自動調整	30
DVI-D IN	30
SDI IN (PT-DZ6710のみ)	31
オンスクリーン表示	31
バックカラー	31
スタートアップロゴ	32
フリーズ	32
2画面 (PT-DZ6710、PT-DZ6700、PT-DW6300のみ)	32
「プロジェクターセットアップ」について	33
プロジェクター ID	33
設置設定	33
高地モード	33
ファン制御	34
ランプ選択	34
ランプリレー	34
ランプ出力*	35
スタンバイモード	35
RS-232C	35
REMOTE2 端子モード	35
ステータス	36
フィルター残量リセット	36
無信号自動オフ	36
ファンクションボタン	37
日付と時刻	37
全ユーザーデータ保存	37
全ユーザーデータロード	37
初期化	38
サービスパスワード	38
「テストパターン」について	39
テストパターン	39
「登録信号一覧」について	40
新規登録	40
登録信号の名前の変更	40
登録した信号を削除する	40
サブメモリーについて	41
「セキュリティ」について	42
セキュリティパスワード	42
セキュリティパスワード変更	42
表示設定	42
テキスト変更	43
メニューロック	43
メニューロックパスワード	43
操作設定	43

* PT-D5000 では使用できません。

「ネットワーク」について	44
ネットワーク設定	44
ネットワークコントロール	44
ネットワークステータス	45
ネットワーク接続	46
Web ブラウザからのアクセスのしかた	47

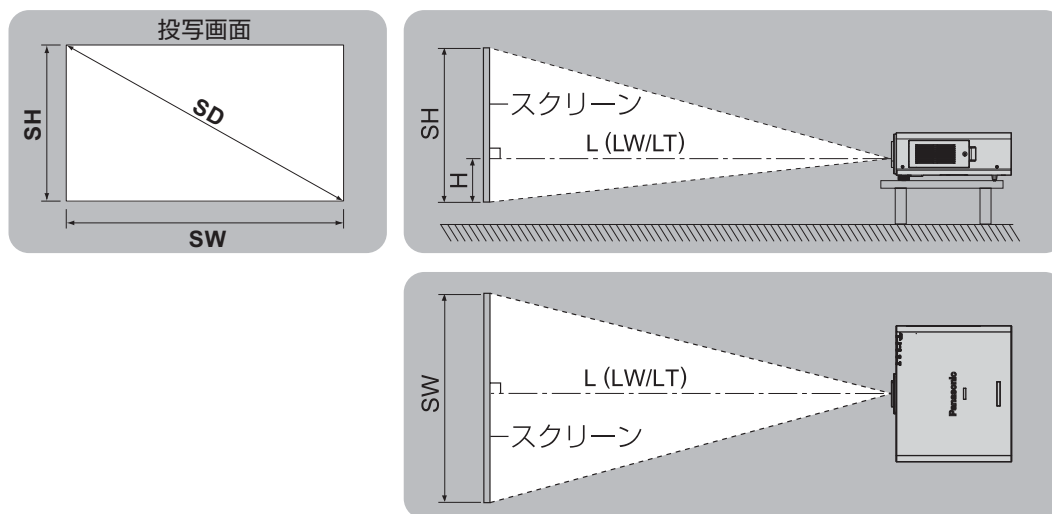
その他

付録	58
PJLink™ プロトコルを使用する	58
シリアル端子について	59
リモート端子について	61
2 画面表示組み合わせ一覧表 (PT-DZ6710、 PT-DZ6700、PT-DW6300 のみ)	62
メニューロックパスワードについて	62
さくいん	63
商標について	裏表紙

設置する

投写関係

本機の設置は、下図や投写距離を参考にして設置してください。なお、スクリーンサイズ、スクリーン位置に応じて画面サイズ、画面位置を調整することができます。



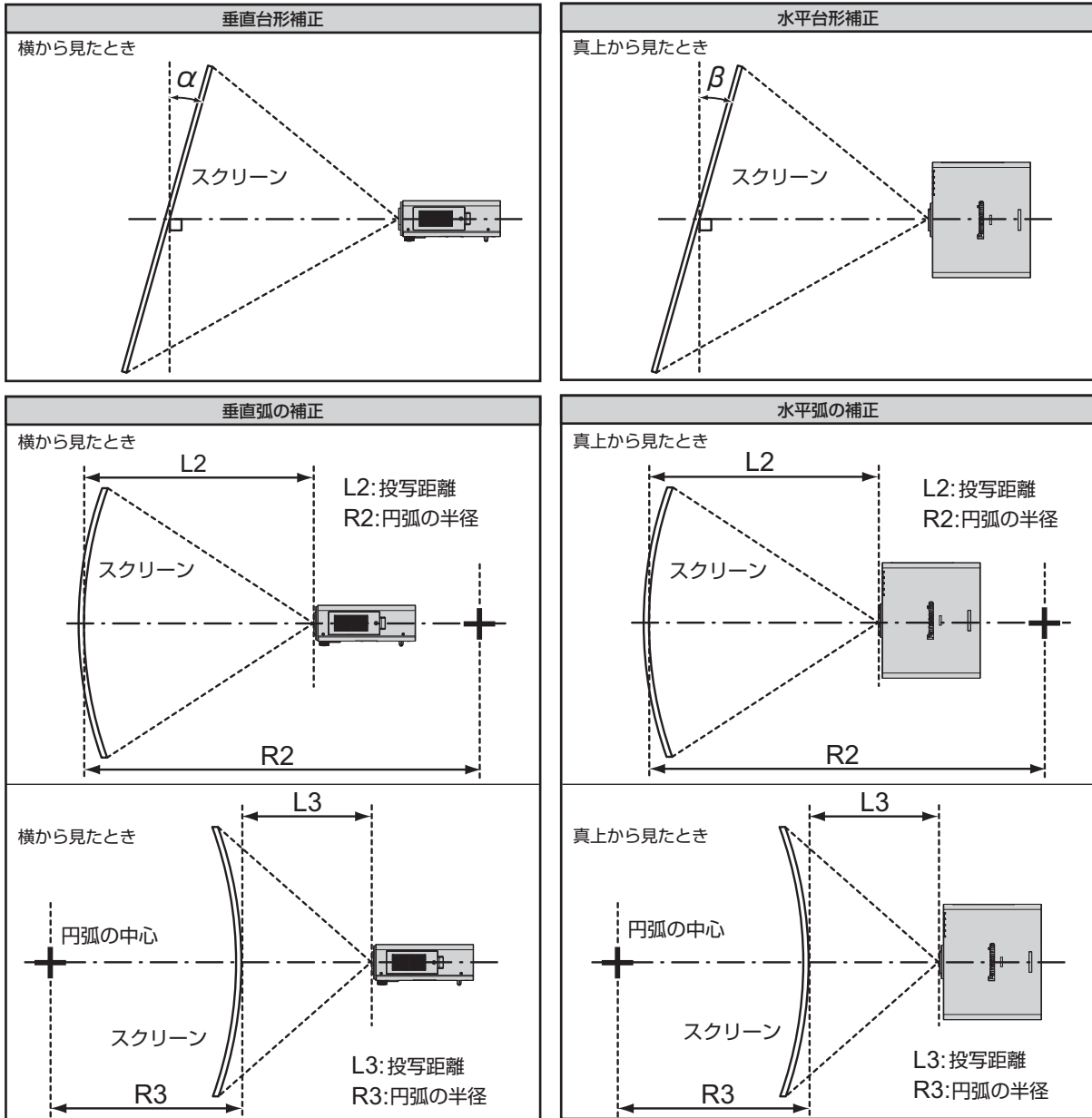
L(LW/LT) ※	投写距離 (m)
SH	画像高さ (m)
SW	画像幅 (m)
H	レンズセンターから画像下端までの距離 (m)
SD	画面对角サイズ (型)

※ LW：ズームレンズ使用時、最短投写距離
LT：ズームレンズ使用時、最長投写距離

お願い：

- 設置をする前に取扱説明書の「ご使用になる前に」をお読みください。
- DLP プロジェクターと高出力のレーザー機器を同じ部屋で使用しないでください。
レーザー光がレンズ面に入ると DMD 素子の故障の原因となります。

■ 幾何学歪補正による投写範囲 (PT-DZ6710 のみ)



準備

レンズ	台形補正		曲面補正					
	台形補正のみ		台形補正と曲面補正の併用時				曲面補正のみ	
	垂直台形補正角 α (°)	水平台形補正角 β (°)	垂直台形補正角 α (°)	水平台形補正角 β (°)	R2/L2 最小	R3/L3 最小	R2/L2 最小	R3/L3 最小
標準	40	15	5	5	1.2	2.4	0.6	1.2
ET-DLE055	30	15	5	5	3	6	1.5	4.3
ET-DLE150	40	15	5	5	1.6	3.2	0.8	1.6
ET-DLE250	40	15	5	5	1.2	2.4	0.6	1.2
ET-DLE350	40	15	10	10	0.8	1.6	0.4	0.8
ET-DLE450	40	15	10	15	0.6	1	0.3	0.5

お知らせ:

- 幾何学歪補正を使用した場合、補正量が大きくなるとフォーカスが画面全体では合わない場合があります。
- 曲面のスクリーンは真円の一部を切り取った円弧の形状にしてください。

設置する (つづき)

■ 投写レンズごとの投写距離 (PT-DZ6710/PT-DZ6700 の場合)

- 画面アスペクト 16:10 のとき (単位 : m)
(下記の表の寸法は若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ										高さ位置 (H) *2
					固定焦点レンズ		短焦点ズームレンズ		中焦点ズームレンズ		長焦点ズームレンズ		超長焦点ズームレンズ		
投写レンズ品番			—		ET-DLE055	ET-DLE150	ET-DLE250	ET-DLE350	ET-DLE450						
スローレシオ *1			1.8 ~ 2.4:1		0.8:1	1.3 ~ 1.9:1	2.3 ~ 3.6:1	3.6 ~ 5.4:1	5.4 ~ 8.6:1						
投写画面サイズ			投写距離 (L)												
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
50	0.673	1.077	1.90	2.57	0.83	1.38	2.01	2.42	3.87	3.80	5.82	5.66	9.12	0 ~ 0.34	
60	0.808	1.292	2.30	3.10	1.00	1.66	2.43	2.92	4.65	4.59	7.00	6.85	11.01	0 ~ 0.40	
70	0.942	1.508	2.69	3.63	1.18	1.95	2.84	3.42	5.44	5.38	8.19	8.04	12.89	0 ~ 0.47	
80	1.077	1.723	3.09	4.16	1.35	2.23	3.25	3.92	6.23	6.16	9.38	9.24	14.78	0 ~ 0.54	
90	1.212	1.939	3.48	4.69	1.53	2.52	3.66	4.42	7.02	6.95	10.57	10.43	16.66	0 ~ 0.61	
100	1.346	2.154	3.88	5.22	1.70	2.81	4.08	4.92	7.81	7.74	11.76	11.62	18.55	0 ~ 0.67	
120	1.615	2.585	4.67	6.27	2.05	3.38	4.90	5.91	9.39	9.31	14.14	14.00	23.32	0 ~ 0.81	
150	2.019	3.231	5.85	7.86	2.58	4.24	6.14	7.41	11.75	11.68	17.71	17.58	27.97	0 ~ 1.01	
200	2.692	4.308	7.83	10.50	3.45	5.67	8.20	9.91	15.70	15.61	23.66	23.54	37.39	0 ~ 1.35	
250	3.365	5.385	9.80	13.15	—	7.10	10.26	12.41	19.64	19.55	29.61	29.50	46.81	0 ~ 1.68	
300	4.039	6.462	11.78	15.79	—	8.53	12.33	14.91	23.59	23.49	35.56	35.46	56.24	0 ~ 2.02	
350	4.712	7.539	13.75	18.44	—	9.96	14.39	17.40	27.53	27.42	41.51	41.42	65.66	0 ~ 2.36	
400	5.385	8.616	15.73	21.08	—	11.39	16.45	19.90	31.48	31.36	47.46	47.38	75.08	0 ~ 2.69	
500	6.731	10.770	19.68	26.37	—	14.25	20.58	24.90	39.37	39.24	59.36	59.30	93.93	0 ~ 3.37	
600	8.077	12.923	23.63	31.66	—	17.11	24.70	29.89	47.26	47.11	71.26	71.22	112.77	0 ~ 4.04	

- 画面アスペクト 16:9 のとき (単位 : m)
(下記の表の寸法は若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ										高さ位置 (H) *2
					固定焦点レンズ		短焦点ズームレンズ		中焦点ズームレンズ		長焦点ズームレンズ		超長焦点ズームレンズ		
投写レンズ品番			—		ET-DLE055	ET-DLE150	ET-DLE250	ET-DLE350	ET-DLE450						
スローレシオ *1			1.8 ~ 2.4:1		0.8:1	1.3 ~ 1.9:1	2.3 ~ 3.6:1	3.6 ~ 5.4:1	5.4 ~ 8.6:1						
投写画面サイズ			投写距離 (L)												
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
50	0.623	1.107	1.96	2.65	0.85	1.42	2.07	2.49	3.98	3.91	5.98	5.82	9.39	-0.06 ~ 0.31	
60	0.747	1.328	2.36	3.19	1.03	1.71	2.49	3.00	4.79	4.72	7.20	7.05	11.32	-0.08 ~ 0.37	
70	0.872	1.550	2.77	3.73	1.21	2.00	2.92	3.51	5.60	5.53	8.43	8.28	13.26	-0.09 ~ 0.44	
80	0.996	1.771	3.17	4.28	1.39	2.30	3.34	4.03	6.41	6.34	9.65	9.50	15.20	-0.10 ~ 0.50	
90	1.121	1.992	3.58	4.82	1.57	2.59	3.77	4.54	7.22	7.15	10.87	10.73	17.13	-0.11 ~ 0.56	
100	1.245	2.214	3.99	5.36	1.75	2.89	4.19	5.05	8.03	7.96	12.09	11.95	19.07	-0.13 ~ 0.62	
120	1.494	2.657	4.80	6.45	2.11	3.47	5.04	6.08	9.65	9.58	14.54	14.40	22.94	-0.15 ~ 0.75	
150	1.868	3.321	6.02	8.08	2.65	4.36	6.31	7.62	12.08	12.00	18.21	18.08	28.75	-0.19 ~ 0.93	
200	2.491	4.428	8.05	10.80	3.55	5.83	8.43	10.19	16.14	16.05	24.32	24.20	38.44	-0.25 ~ 1.25	
250	3.113	5.535	10.08	13.52	—	7.29	10.55	12.76	20.19	20.10	30.44	30.33	48.12	-0.31 ~ 1.56	
300	3.736	6.641	12.11	16.23	—	8.76	12.67	15.32	24.25	24.14	36.55	36.45	57.81	-0.37 ~ 1.87	
350	4.358	7.748	14.14	18.95	—	10.23	14.79	17.89	28.30	28.19	42.67	42.58	67.49	-0.44 ~ 2.18	
400	4.981	8.855	16.17	21.67	—	11.70	16.91	20.46	32.35	32.24	48.78	48.71	77.18	-0.50 ~ 2.49	
500	6.226	11.069	20.23	27.11	—	14.64	21.15	25.59	40.46	40.33	64.01	60.96	96.55	-0.62 ~ 3.11	
600	7.472	13.283	24.29	32.54	—	17.58	25.39	30.72	48.57	48.42	73.24	73.21	115.92	-0.75 ~ 3.74	

- * 1 : スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。
- * 2 : ET-DLE055 の際はレンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

■ 投写レンズごとの投写距離 (PT-DW6300 の場合)

- 画面アスペクト 16:10 のとき (単位 : m)
(下記の表の寸法は若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ								高さ位置 (H) *2	
					固定焦点レンズ		短焦点ズームレンズ		中焦点ズームレンズ		長焦点ズームレンズ			超長焦点ズームレンズ
投写レンズ品番			—		ET-DLE055	ET-DLE150	ET-DLE250	ET-DLE350	ET-DLE450					
スローレシオ *1			1.8 ~ 2.4:1		0.8:1	1.4 ~ 2.0:1	2.4 ~ 3.8:1	3.8 ~ 5.7:1	5.6 ~ 9.0:1					
投写画面サイズ			投写距離 (L)											
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	
50	0.673	1.077	1.92	2.56	0.87	1.45	2.12	2.54	4.06	4.00	6.11	5.96	9.60	-0.07 ~ 0.34
60	0.808	1.292	2.32	3.08	1.06	1.75	2.55	3.07	4.89	4.83	7.36	7.21	11.57	-0.08 ~ 0.40
70	0.942	1.508	2.72	3.61	1.24	2.05	2.98	3.59	5.72	5.65	8.61	8.46	13.55	-0.09 ~ 0.47
80	1.077	1.723	3.11	4.13	1.42	2.35	3.42	4.12	6.55	6.48	9.86	9.71	15.53	-0.11 ~ 0.54
90	1.212	1.939	3.51	4.65	1.61	2.65	3.85	4.64	7.38	7.31	11.11	10.96	17.51	-0.12 ~ 0.61
100	1.346	2.154	3.91	5.18	1.79	2.95	4.28	5.17	8.20	8.13	12.36	12.22	19.49	-0.14 ~ 0.67
120	1.615	2.585	4.70	6.23	2.16	3.55	5.15	6.21	9.86	9.79	14.86	14.72	23.45	-0.16 ~ 0.81
150	2.019	3.231	5.90	7.80	2.71	4.45	6.45	7.79	12.35	12.27	18.61	18.47	29.38	-0.20 ~ 1.01
200	2.692	4.308	7.88	10.42	3.63	5.95	8.61	10.41	16.49	16.40	24.85	24.73	39.28	-0.27 ~ 1.35
250	3.365	5.385	9.87	13.04	—	7.45	10.78	13.03	20.63	20.53	31.10	30.99	49.17	-0.34 ~ 1.68
300	4.039	6.462	11.86	15.66	—	8.96	12.95	15.65	24.77	24.67	37.35	37.25	59.06	-0.40 ~ 2.02
350	4.712	7.539	13.85	18.28	—	10.46	15.11	18.28	28.91	28.80	43.59	43.51	68.96	-0.47 ~ 2.36
400	5.385	8.616	15.83	20.90	—	11.96	17.28	20.90	33.06	32.94	49.84	49.76	78.85	-0.54 ~ 2.69
500	6.731	10.770	19.81	26.15	—	14.96	21.61	26.14	41.34	41.20	62.33	62.28	98.64	-0.67 ~ 3.37
600	8.077	12.923	23.78	31.39	—	17.96	25.94	31.39	49.62	49.47	74.82	74.80	118.43	-0.81 ~ 4.04

- 画面アスペクト 16:9 のとき (単位 : m)
(下記の表の寸法は若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ								高さ位置 (H) *2	
					固定焦点レンズ		短焦点ズームレンズ		中焦点ズームレンズ		長焦点ズームレンズ			超長焦点ズームレンズ
投写レンズ品番			—		ET-DLE055	ET-DLE150	ET-DLE250	ET-DLE350	ET-DLE450					
スローレシオ *1			1.8 ~ 2.4:1		0.8:1	1.4 ~ 2.0:1	2.4 ~ 3.8:1	3.8 ~ 5.7:1	5.6 ~ 9.0:1					
投写画面サイズ			投写距離 (L)											
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長	
50	0.623	1.107	1.98	2.63	0.90	1.49	2.18	2.62	4.18	4.11	6.29	6.13	9.87	-0.14 ~ 0.31
60	0.747	1.328	2.39	3.17	1.09	1.80	2.62	3.15	5.03	4.96	7.57	7.42	11.90	-0.16 ~ 0.37
70	0.872	1.550	2.79	3.71	1.28	2.11	3.07	3.69	5.88	5.81	8.85	8.70	13.94	-0.19 ~ 0.44
80	0.996	1.771	3.20	4.25	1.46	2.42	3.51	4.23	6.73	6.66	10.14	9.99	15.97	-0.22 ~ 0.50
90	1.121	1.992	3.61	4.79	1.65	2.72	3.96	4.77	7.58	7.51	11.42	11.28	18.01	-0.25 ~ 0.56
100	1.245	2.214	4.02	5.32	1.84	3.03	4.40	5.31	8.44	8.36	12.71	12.56	20.04	-0.27 ~ 0.62
120	1.494	2.657	4.84	6.40	2.22	3.65	5.29	6.39	10.14	10.06	15.27	15.14	24.11	-0.33 ~ 0.75
150	1.868	3.321	6.06	8.02	2.79	4.58	6.63	8.01	12.69	12.61	19.13	19.00	30.21	-0.41 ~ 0.93
200	2.491	4.428	8.11	10.71	3.73	6.12	8.86	10.70	16.95	16.86	25.55	25.43	40.38	-0.55 ~ 1.25
250	3.113	5.535	10.15	13.41	—	7.66	11.08	13.40	21.21	21.11	31.97	31.86	50.54	-0.69 ~ 1.56
300	3.736	6.641	12.19	16.10	—	9.21	13.31	16.09	25.46	25.36	38.39	38.29	60.71	-0.82 ~ 1.87
350	4.358	7.748	14.23	18.79	—	10.75	15.53	18.79	29.72	29.61	44.81	44.72	70.88	-0.96 ~ 2.18
400	4.981	8.855	16.27	21.49	—	12.29	17.76	21.48	33.98	33.86	51.23	51.16	81.05	-1.10 ~ 2.49
500	6.226	11.069	20.36	26.87	—	15.38	22.21	26.87	42.49	42.35	64.07	64.02	101.39	-1.37 ~ 3.11
600	7.472	13.283	24.44	32.26	—	18.46	26.67	32.26	51.00	50.85	76.91	76.89	121.73	-1.64 ~ 3.74

- * 1 : スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。
- * 2 : ET-DLE055 の際はレンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

設置する (つづき)

■ 投写レンズごとの投写距離 (PT-D6000/PT-D5000 の場合)

- 画面アスペクト 4:3 のとき (単位 : m)
(下記の表の寸法は若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ										高さ位置 (H) *2
					固定焦点レンズ		短焦点ズームレンズ		中焦点ズームレンズ		長焦点ズームレンズ		超長焦点ズームレンズ		
投写レンズ品番			—		ET-DLE055	ET-DLE150	ET-DLE250	ET-DLE350	ET-DLE450						
スローレシオ *1			1.8 ~ 2.4:1		0.8:1	1.3 ~ 2.0:1	2.4 ~ 3.7:1	3.7 ~ 5.6:1	5.5 ~ 8.9:1						
投写画面サイズ			投写距離 (L)												
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
50	0.762	1.016	1.79	2.38	0.81	1.34	1.97	2.36	3.78	3.71	5.68	5.53	8.91	0 ~ 0.38	
60	0.914	1.219	2.16	2.86	0.98	1.62	2.37	2.85	4.55	4.48	6.84	6.69	10.75	0 ~ 0.46	
70	1.067	1.422	2.53	3.35	1.15	1.90	2.77	3.34	5.32	5.25	8.01	7.86	12.60	0 ~ 0.53	
80	1.219	1.626	2.90	3.84	1.32	2.18	3.18	3.83	6.09	6.02	9.17	9.02	14.44	0 ~ 0.61	
90	1.372	1.829	3.27	4.33	1.49	2.46	3.58	4.32	6.86	6.79	10.33	10.19	16.28	0 ~ 0.69	
100	1.524	2.032	3.64	4.82	1.66	2.74	3.98	4.80	7.63	7.56	11.50	11.35	18.12	0 ~ 0.76	
120	1.829	2.438	4.38	5.79	2.01	3.30	4.79	5.78	9.18	9.10	13.82	13.68	21.81	0 ~ 0.91	
150	2.286	3.048	5.49	7.26	2.52	4.14	6.00	7.24	11.49	11.41	17.31	17.18	27.33	0 ~ 1.14	
200	3.048	4.064	7.34	9.70	3.38	5.54	8.02	9.69	15.34	15.26	23.13	23.00	36.54	0 ~ 1.52	
250	3.810	5.080	9.19	12.14	—	6.94	10.03	12.13	19.20	19.11	28.94	28.83	45.76	0 ~ 1.91	
300	4.572	6.096	11.04	14.58	—	8.33	12.05	14.57	23.06	22.96	34.76	34.66	54.97	0 ~ 2.29	
350	5.334	7.112	12.89	17.02	—	9.73	14.07	17.01	26.91	26.81	40.57	40.48	64.18	0 ~ 2.67	
400	6.096	8.128	14.74	19.46	—	11.13	16.08	19.45	30.77	30.65	46.39	46.31	73.39	0 ~ 3.05	
500	7.620	10.160	18.44	24.34	—	13.92	20.12	24.33	38.48	38.35	58.02	57.96	91.81	0 ~ 3.81	
600	9.144	12.192	22.14	29.22	—	16.72	24.15	29.22	46.19	46.05	69.65	69.61	110.23	0 ~ 4.57	

- 画面アスペクト 16:9 のとき (単位 : m)
(下記の表の寸法は若干の誤差があります。)

レンズタイプ			標準ズームレンズ		別売品レンズ										高さ位置 (H) *2
					固定焦点レンズ		短焦点ズームレンズ		中焦点ズームレンズ		長焦点ズームレンズ		超長焦点ズームレンズ		
投写レンズ品番			—		ET-DLE055	ET-DLE150	ET-DLE250	ET-DLE350	ET-DLE450						
スローレシオ *1			1.8 ~ 2.4:1		0.8:1	1.3 ~ 2.0:1	2.4 ~ 3.8:1	3.7 ~ 5.6:1	5.6 ~ 8.9:1						
投写画面サイズ			投写距離 (L)												
型 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短	最長	固定	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
50	0.623	1.107	1.95	2.60	0.89	1.47	2.15	2.58	4.12	4.06	6.20	6.05	9.74	-0.21 ~ 0.31	
60	0.747	1.328	2.35	3.13	1.07	1.77	2.59	3.11	4.96	4.90	7.47	7.32	11.74	-0.25 ~ 0.37	
70	0.872	1.550	2.76	3.66	1.26	2.08	3.03	3.64	5.80	5.74	8.74	8.59	13.75	-0.29 ~ 0.44	
80	0.996	1.771	3.16	4.19	1.44	2.38	3.47	4.18	6.64	6.57	10.00	9.85	15.76	-0.33 ~ 0.50	
90	1.121	1.992	3.56	4.72	1.63	2.69	3.91	4.71	7.48	7.41	11.27	11.12	17.76	-0.37 ~ 0.56	
100	1.245	2.214	3.97	5.25	1.82	2.99	4.34	5.24	8.32	8.25	12.54	12.39	19.77	-0.41 ~ 0.62	
120	1.494	2.657	4.77	6.32	2.19	3.60	5.22	6.30	10.00	9.93	15.07	14.93	23.79	-0.49 ~ 0.75	
150	1.868	3.321	5.98	7.91	2.75	4.52	6.54	7.90	12.52	12.44	18.87	18.74	29.81	-0.62 ~ 0.93	
200	2.491	4.428	8.00	10.57	3.68	6.04	8.74	10.56	16.72	16.64	25.21	25.09	39.84	-0.82 ~ 1.25	
250	3.113	5.535	10.01	13.23	—	7.56	10.94	13.22	20.93	20.83	31.54	31.44	49.88	-1.03 ~ 1.56	
300	3.736	6.641	12.03	15.89	—	9.08	13.13	15.88	25.13	25.02	37.88	37.78	59.91	-1.23 ~ 1.87	
350	4.358	7.748	14.04	18.54	—	10.61	15.33	18.54	29.33	29.22	44.22	44.13	69.95	-1.44 ~ 2.18	
400	4.981	8.855	16.06	21.20	—	12.13	17.53	21.20	33.53	33.41	50.55	50.48	79.98	-1.64 ~ 2.49	
500	6.226	11.069	20.09	26.52	—	15.18	21.92	26.52	41.93	41.79	63.22	63.17	100.05	-2.06 ~ 3.11	
600	7.472	13.283	24.12	31.84	—	18.22	26.31	31.84	50.33	50.18	75.89	75.87	120.12	-2.47 ~ 3.74	

- * 1 : スローレシオは、投写画面サイズ 80 型投写時の値を基準にしています。
- * 2 : ET-DLE055 の際はレンズシフトが使用できないため、高さ位置 (H) は SH/2 になります。

■ 投写レンズ別投写距離計算式 (PT-DZ6710/PT-DZ6700 の場合)

レンズタイプ		アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	
標準ズームレンズ	—	16:10	最短 (LW)	$L=0.0395 \times SD - 0.0744$
			最長 (LT)	$L=0.0529 \times SD - 0.0734$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.0406 \times SD - 0.0745$
			最長 (LT)	$L=0.0544 \times SD - 0.0734$
固定焦点レンズ	品番: ET-DLE055	16:10	—	$L=0.0175 \times SD - 0.0476$
		16:9	—	$L=0.0180 \times SD - 0.0476$
短焦点ズームレンズ	品番: ET-DLE150	16:10	最短 (LW)	$L=0.0286 \times SD - 0.0540$
			最長 (LT)	$L=0.0413 \times SD - 0.0498$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.0294 \times SD - 0.0540$
			最長 (LT)	$L=0.0424 \times SD - 0.0498$
中焦点ズームレンズ	品番: ET-DLE250	16:10	最短 (LW)	$L=0.0500 \times SD - 0.0800$
			最長 (LT)	$L=0.0789 \times SD - 0.0792$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.0513 \times SD - 0.0800$
			最長 (LT)	$L=0.0811 \times SD - 0.0792$
長焦点ズームレンズ	品番: ET-DLE350	16:10	最短 (LW)	$L=0.0787 \times SD - 0.1351$
			最長 (LT)	$L=0.1190 \times SD - 0.1346$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.0809 \times SD - 0.1351$
			最長 (LT)	$L=0.1223 \times SD - 0.1346$
超長焦点ズームレンズ	品番: ET-DLE450	16:10	最短 (LW)	$L=0.1192 \times SD - 0.3017$
			最長 (LT)	$L=0.1885 \times SD - 0.2991$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.1225 \times SD - 0.3017$
			最長 (LT)	$L=0.1937 \times SD - 0.2991$

■ 投写レンズ別投写距離計算式 (PT-DW6300 の場合)

レンズタイプ		アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	
標準ズームレンズ	—	16:10	最短 (LW)	$L=0.0397 \times SD - 0.0650$
			最長 (LT)	$L=0.0524 \times SD - 0.0638$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.0408 \times SD - 0.0650$
			最長 (LT)	$L=0.0539 \times SD - 0.0638$
固定焦点レンズ	品番: ET-DLE055	16:10	—	$L=0.0184 \times SD - 0.0476$
		16:9	—	$L=0.0189 \times SD - 0.0476$
短焦点ズームレンズ	品番: ET-DLE150	16:10	最短 (LW)	$L=0.0300 \times SD - 0.0540$
			最長 (LT)	$L=0.0433 \times SD - 0.0498$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.0309 \times SD - 0.0540$
			最長 (LT)	$L=0.0445 \times SD - 0.0498$
中焦点ズームレンズ	品番: ET-DLE250	16:10	最短 (LW)	$L=0.0524 \times SD - 0.0800$
			最長 (LT)	$L=0.0828 \times SD - 0.0792$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.0539 \times SD - 0.0800$
			最長 (LT)	$L=0.0851 \times SD - 0.0792$
長焦点ズームレンズ	品番: ET-DLE350	16:10	最短 (LW)	$L=0.0827 \times SD - 0.1351$
			最長 (LT)	$L=0.1249 \times SD - 0.1346$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.0850 \times SD - 0.1351$
			最長 (LT)	$L=0.1284 \times SD - 0.1346$
超長焦点ズームレンズ	品番: ET-DLE450	16:10	最短 (LW)	$L=0.1252 \times SD - 0.3017$
			最長 (LT)	$L=0.1979 \times SD - 0.2991$
		16:9	最短 (LW)	$L=0.1286 \times SD - 0.3017$
			最長 (LT)	$L=0.2034 \times SD - 0.2991$

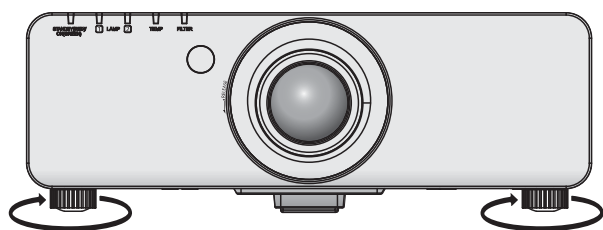
設置する (つづき)

■ 投写レンズ別投写距離計算式 (PT-D6000/PT-D5000 の場合)

レンズタイプ		アスペクト比	投写距離 (L) 計算式	
標準ズームレンズ	-	4 : 3	最短 (LW)	$L=0.0370 \times SD - 0.0650$
			最長 (LT)	$L=0.0488 \times SD - 0.0638$
		16 : 9	最短 (LW)	$L=0.0403 \times SD - 0.0650$
			最長 (LT)	$L=0.0532 \times SD - 0.0638$
固定焦点レンズ	品番 : ET-DLE055	4 : 3	—	$L=0.0171 \times SD - 0.0476$
		16 : 9	—	$L=0.0186 \times SD - 0.0476$
短焦点ズームレンズ	品番 : ET-DLE150	4 : 3	最短 (LW)	$L=0.0280 \times SD - 0.0540$
			最長 (LT)	$L=0.0403 \times SD - 0.0498$
		16 : 9	最短 (LW)	$L=0.0305 \times SD - 0.0540$
			最長 (LT)	$L=0.0439 \times SD - 0.0498$
中焦点ズームレンズ	品番 : ET-DLE250	4 : 3	最短 (LW)	$L=0.0488 \times SD - 0.0800$
			最長 (LT)	$L=0.0771 \times SD - 0.0792$
		16 : 9	最短 (LW)	$L=0.0532 \times SD - 0.0800$
			最長 (LT)	$L=0.0840 \times SD - 0.0792$
長焦点ズームレンズ	品番 : ET-DLE350	4 : 3	最短 (LW)	$L=0.0770 \times SD - 0.1351$
			最長 (LT)	$L=0.1163 \times SD - 0.1346$
		16 : 9	最短 (LW)	$L=0.0839 \times SD - 0.1351$
			最長 (LT)	$L=0.1267 \times SD - 0.1346$
超長焦点ズームレンズ	品番 : ET-DLE450	4 : 3	最短 (LW)	$L=0.1165 \times SD - 0.3017$
			最長 (LT)	$L=0.1842 \times SD - 0.2991$
		16 : 9	最短 (LW)	$L=0.1270 \times SD - 0.3017$
			最長 (LT)	$L=0.2007 \times SD - 0.2991$

アジャスター脚の調整

図のように、アジャスター脚を回すと脚を伸ばすことができ、逆に回すと元に戻すことができます。
(上下に投写角度を調整することができます。)



お願い:

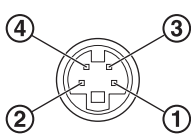
- ランプ点灯中は排気孔から熱風が出ています。アジャスター脚を調整するときは、排気孔に直接手を触れないでください。

接続する

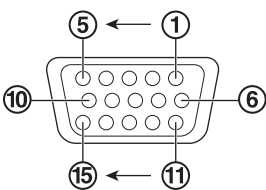
接続の前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、Sビデオ信号、アナログRGB信号（同期信号はTTLレベル）、およびデジタル信号です。
- コンピューターのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を長いケーブルを使用して接続する場合はケーブル補償器などを使用しないと正常に出画できないことがあります。

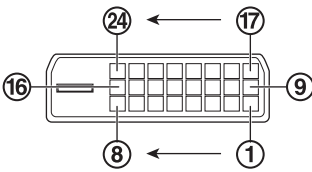
■ Sビデオ入力（S-VIDEO IN）端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン NO.	信号名
	①	アース（輝度信号）
	②	アース（色信号）
	③	輝度信号
	④	色信号

■ RGB2 入力（RGB2 IN）端子のピン配列と信号名

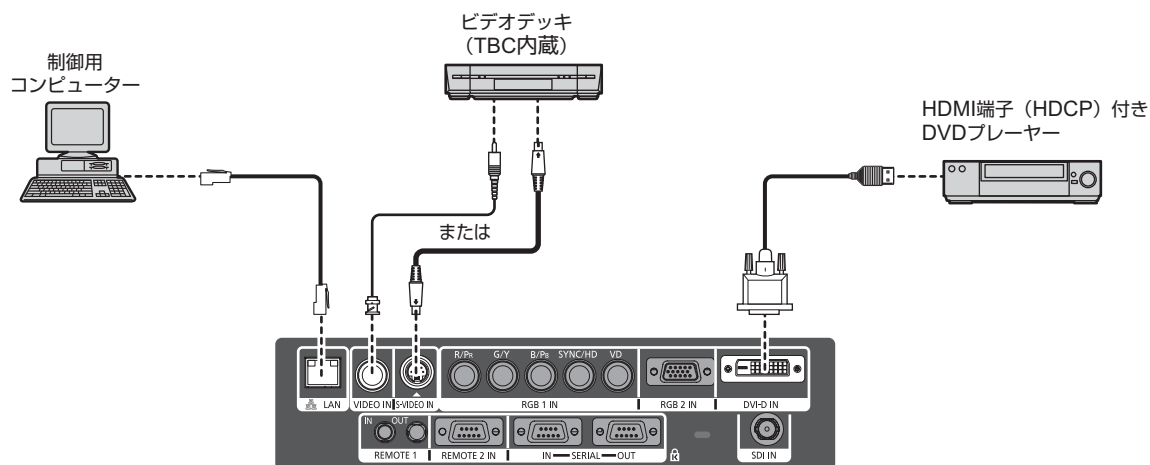
外側から見た図	ピン NO.	信号名
	①	R/PR
	②	G/G・SYNC/Y
	③	B/PB
	⑫	DDC データ
	⑬	HD/SYNC
	⑭	VD
	⑮	DDC クロック
	④、⑨ は未使用です。 ⑤～⑧、⑩、⑪ は GND 端子です。	

■ DVI-D 入力（DVI-D IN）端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン NO.	信号名	ピン NO.	信号名
	①	T.M.D.S データ 2-	⑬	—
	②	T.M.D.S データ 2+	⑭	+5V
	③	T.M.D.S データ 2/4 シールド	⑮	GND
	④	—	⑯	ホットプラグ検出
	⑤	—	⑰	T.M.D.S データ 0-
	⑥	DDC クロック	⑱	T.M.D.S データ 0+
	⑦	DDC データ	⑲	T.M.D.S データ 0/5 シールド
	⑧	—	⑳	—
	⑨	T.M.D.S データ 1-	㉑	—
	⑩	T.M.D.S データ 1+	㉒	T.M.D.S クロック シールド
	⑪	T.M.D.S データ 1/3 シールド	㉓	T.M.D.S クロック +
	⑫	—	㉔	T.M.D.S クロック -

接続する (つづき)

映像機器との接続 (例)



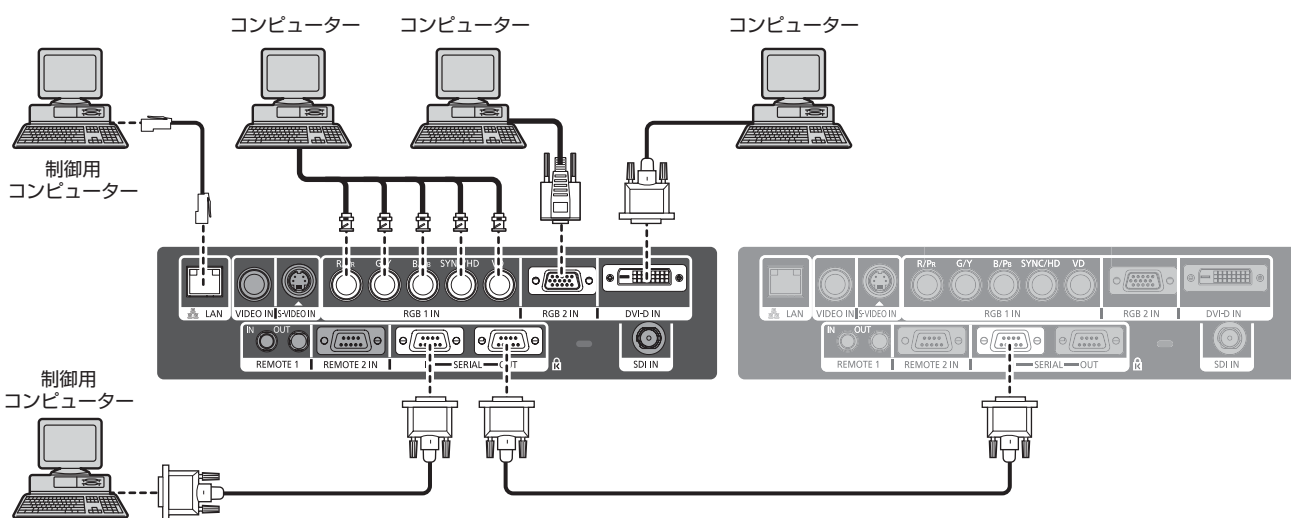
お願い:

- ビデオデッキを接続するときは、必ず TBC (タイムベースコレクター) 内蔵のものを使用するか、または本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクターを使用してください。
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れる場合があります。その場合は本機との間にタイムベースコレクターを接続してください。

お知らせ:

- DVI-D 入力端子はシングルリンクのみ対応しています。
- HDMI 対応の機器を接続する場合は、HDMI-DVI-D 変換ケーブルが必要です。
- DVI-D 入力時は、接続する機器によって EDID 設定が必要となる場合があります。
- DVI-D 入力端子は HDMI および DVI-D 対応機器との接続ができますが、一部の機器では映像が出ないなど、正常に動作しない場合があります。(参照 30 ページ)

コンピューターとの接続 (例)



お知らせ:

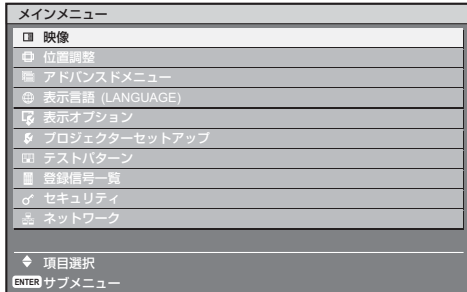
- 本機が投写できるコンピューターからの RGB 信号は、『取扱説明書』の「対応信号リスト」を参照してください。
- レジューム機能 (ラストメモリー) を持つコンピューターを使用される場合は、その機能をリセットしないと動作しない場合があります。
- SYNC ON GREEN 信号入力時には SYNC/HD、VD 端子へ同期信号を入力しないでください。
- DVI-D 入力時は、接続する機器によって EDID 設定が必要になることがあります。(参照 30 ページ)

オンスクリーンメニューについて

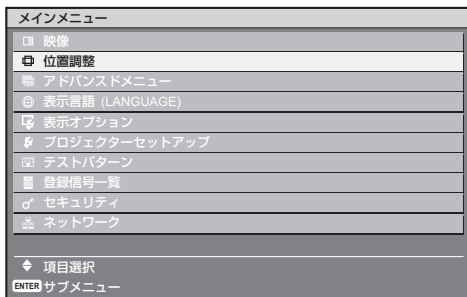
メニュー画面の操作方法

■ 操作の手順

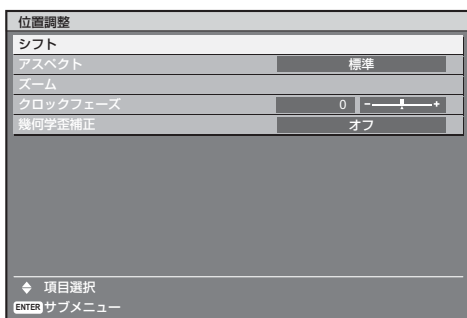
- 1) 「メニュー」ボタンを押す
メインメニューが表示されます。



- 2) ▲▼ ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ
選択中の項目は黄色のカーソルで表示されます。



- 3) エンター (ENTER) ボタンを押して決定する
選択したメニュー画面の詳細が表示されます。



- 4) ▲▼ ボタンを押して項目を選択し、
◀▶ ボタンを押して設定の切り換えや調整を行う
項目によって ◀▶ ボタンを押すと下図のようなバースケールの個別調整画面が表示されます。



お知らせ:

- メニュー画面を表示中、「メニュー」ボタンを押すと、ひとつ前の階層メニュー画面に戻ります。
- 入力される信号によって、調整できない項目や使用できない機能があります。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できるものがあります。
- 約 5 秒間何も操作をしないで放置していると、個別調整画面は自動で消えます。
- サブメニューの項目については 14、15 ページをご覧ください。

■ 調整値を工場出荷時の状態に戻す

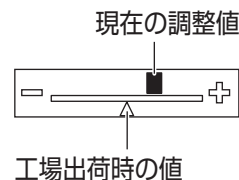
リモコンの「デフォルト」ボタンを押すと、「メニュー」項目で調整した値が工場出荷時の状態に戻ります。

DEFAULT を押す



お知らせ:

- 全ての設定を一度に工場出荷時の状態には戻せません。「サブメニュー」項目で調整した値を、一度に工場出荷時の状態に戻すには、「プロジェクターセットアップ」についての「初期化」をご覧ください。(P.38 ページ)
- 「デフォルト」ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。
- 個別調整画面のバースケールの下の方の三角マークは、工場出荷時の値を示しています。また、三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。



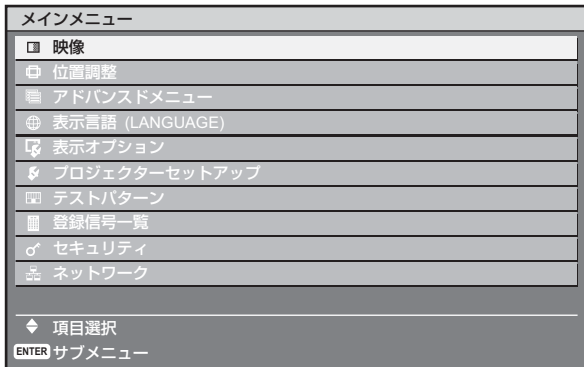
オンスクリーンメニューについて (つづき)

本機の各種設定や調整は、オンスクリーンメニューを使用します。オンスクリーンメニュー操作については、「メニュー画面の操作方法」をご覧ください。(P.13 ページ)

オンスクリーンメニュー



を押す



- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。

メインメニュー

メインメニューには以下の 10 項目があります。メインメニューを選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

	映像
	位置調整
	アドバンスドメニュー
	表示言語
	表示オプション
	プロジェクターセットアップ
	テストパターン
	登録番号一覧
	セキュリティ
	ネットワーク

メニュー項目

選択したメインメニューのサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

■ 映像 []

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
映像モード	スタンダード	16
ピクチャー	0	16
黒レベル	0	16
色の濃さ	0	16
色あい	0	17
色温度設定	デフォルト	17
白ゲイン	10	17
システムダイライトビュー	オフ	18
シャープネス	6	18
ノイズリダクション	1	18
AI	オン	18
システムセレクター	YPbPr ^{*1}	19

お知らせ:

- 映像モードによって工場出荷時の値が異なる場合があります。

■ 位置調整 []

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
シフト	—	20
アスペクト	標準 ^{*1}	20
ズーム	—	21
クロックフェーズ	16	21
幾何学歪補正 ^{*2}	オフ	22
台形補正 ^{*3}	—	23

■ アドバンスドメニュー []

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
デジタルシネマリアリティ	AUTO ^{*1}	24
ブランキング	—	24
入力解像度	—	25
クランプ位置	0	25
エッジブレンド ^{*4}	オフ	25
ラスターポジション	—	26

■表示言語 [🌐]

項目の詳細 (🔍 27 ページ)

■表示オプション [🔧]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
カラーマッチング*4	オフ	28
カラーコレクション	オフ	29
コントラストモード*4	標準	29
スクリーン設定	—	29
入力自動セットアップ	オフ	29
自動調整	—	30
DVI-D IN	—	30
SDI IN*2	—	31
オンスクリーン表示	—	31
バックカラー	ブルー	31
スタートアップロゴ	ロゴ2	32
フリーズ	—	32
2画面*5	—	32

■プロジェクターセットアップ [🔧]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
プロジェクターID	オール	33
設置設定	フロント/ 床置	33
高地モード	オフ	33
ファン制御	床置設置	34
ランプ選択	デュアル	34
ランプリレー	オフ	34
ランプ出力*4	高	35
スタンバイモード	ノーマル	35
RS-232C	—	35
REMOTE2 端子モード	標準	35
ステータス	—	36
フィルター残量リセット	—	36
無信号自動オフ	無効	36
ファンクションボタン	—	37
日付と時刻	—	37
全ユーザーデータ保存	—	37
全ユーザーデータロード	—	37
初期化	—	38
サービスパスワード	—	38

■テストパターン [🖨️]

項目の詳細 (🔍 39 ページ)

■登録信号一覧 [📡]

項目の詳細 (🔍 40 ページ)

■セキュリティ [🔒]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
セキュリティパスワード	オフ	42
セキュリティパスワード変更	—	42
表示設定	オフ	42
テキスト変更	—	43
メニューロック	オフ	43
メニューロックパスワード	—	43
操作設定	—	43

■ネットワーク [🌐]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
ネットワーク設定	—	44
ネットワークコントロール	—	44
ネットワークステータス	—	45

お知らせ:

- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、入力端子の選択により表示が異なります。

* 1 : 入力信号により異なります

* 2 : PT-DZ6710のみ

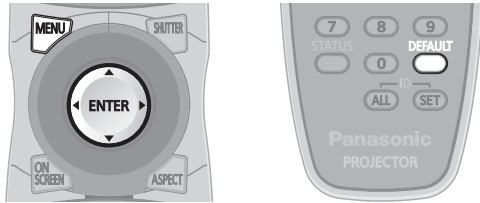
* 3 : PT-DZ6700/PT-DW6300/PT-D6000/
PT-D5000のみ

* 4 : PT-D5000 では使用できません

* 5 : PT-DZ6710/PT-DZ6700/PT-DW6300
のみ

「映像」について

「メニュー画面の操作方法」(P.13 ページ) のメインメニューから「映像」を選び、サブメニューから項目を選んでください。
 ● 項目を選んだら ◀▶ ボタンで調整してください。



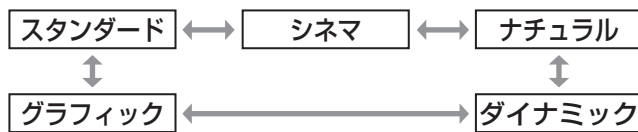
映像モード

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像に設定します。

(1) ▲▼ ボタンで「映像モード」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「映像モード」を切り換える

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



スタンダード	動画系全般に適した画像になります
シネマ	映画ソースに適した画像になります
ナチュラル	sRGB に準拠した画像になります
ダイナミック	明るい場所で使用する場合に適した画像になります
グラフィック	コンピューター入力に適した画像になります

お知らせ：

● 工場出荷モードは、RGB 系では「グラフィック」、動画系では「スタンダード」です。

ピクチャー

色の明暗度を調整します。

(1) ▲▼ ボタンで「ピクチャー」を選択する

(2) ◀▶ またはエンター (ENTER) ボタンを押す

● 「ピクチャー」個別調整画面を表示します。

(3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	画面が明るく映像が濃くなります	最大値 31
◀ ボタンを押す	画面が暗く映像が薄くなります	最小値 -31

お願い：

● 黒レベルを調整する必要がある場合には、黒レベルを先に調整してください。

黒レベル

画面の暗い部分 (黒色) を調整します。

(1) ▲▼ ボタンで「黒レベル」を選択する

(2) ◀▶ またはエンター (ENTER) ボタンを押す

● 「黒レベル」個別調整画面を表示します。

(3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	画面の暗い部分 (黒色) が明るくなります	最大値 31
◀ ボタンを押す	画面の暗い部分 (黒色) が暗くなります	最小値 -31

色の濃さ

色の濃さを調整します。

(1) ▲▼ ボタンで「色の濃さ」を選択する

(2) ◀▶ またはエンター (ENTER) ボタンを押す

● 「色の濃さ」個別調整画面を表示します。

(3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	色が濃くなります	最大値 31
◀ ボタンを押す	色が薄くなります	最小値 -31

色あい

肌色の部分を調整します。

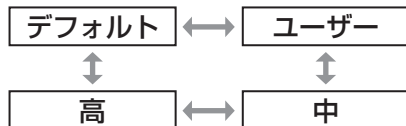
- (1) ▲▼ ボタンで「色あい」を選択する
- (2) ◀▶ またはエンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「色あい」個別調整画面を表示します。
- (3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	色あいが変化し肌色が緑色がかかります	最大値 31
◀ ボタンを押す	色あいが変化し肌色が赤紫色がかかります	最小値 -31

色温度設定

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかかる場合に切り換えます。

- (1) ▲▼ ボタンで「色温度設定」を選択する
- (2) ◀▶ またはエンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「色温度設定」個別調整画面を表示します。
- (3) ◀▶ ボタンで「色温度設定」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



- 「カラーマッチング」(P.28) の調整が「オフ」以外に設定されている場合、色温度設定は「ユーザー」固定になります。

■さらにお好みのホワイトバランスに調整する場合

- (4) 手順 (3) で「ユーザー」を選択する
- (5) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「ホワイトバランス」画面を表示します。
- (6) ▲▼ ボタンで「ホワイトバランス高」または「ホワイトバランス低」を選択する
- (7) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「ホワイトバランス高 (または低)」画面を表示します。
- (8) ▲▼ ボタンで「赤」「緑」「青」を選択する
- (9) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

調整項目	操作	変化内容	調整範囲
赤	▶ ボタンを押す	赤色が強くなります	最大値 高：255 低：63
	◀ ボタンを押す	赤色が弱くなります	
緑	▶ ボタンを押す	緑色が強くなります	最小値 高：0 低：0
	◀ ボタンを押す	緑色が弱くなります	
青	▶ ボタンを押す	青色が強くなります	出荷設定値 高：255 低：32
	◀ ボタンを押す	青色が弱くなります	

お知らせ：

- 正しく調整しないと、すべての色が正常に出なくなります。調整があわなくなった場合は、リモコンのデフォルト (DEFAULT) ボタンを押すと、選択中の項目のみ工場出荷時の標準値に戻せます。
- 内蔵テストパターン (P.39 ページ) では「色温度設定」はできません。必ず入力信号を投写させた状態で「色温度設定」を行ってください。

白ゲイン

映像の白色部分の明るさを調整します。

- (1) ▲▼ ボタンで「白ゲイン」を選択する
- (2) ◀▶ またはエンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「白ゲイン」個別調整画面を表示します。
- (3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

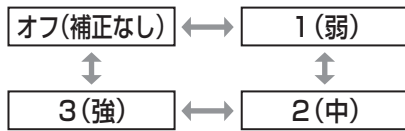
操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	白色の輝きが強くなります	最大値 10
◀ ボタンを押す	自然な映像になります	最小値 0

「映像」について(つづき)

システムデライトビュー

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を最適な鮮やかさに補正します。

- (1) ▲▼ ボタンで「システムデライトビュー」を選択する
- (2) ◀▶ またはエンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「システムデライトビュー」個別調整画面を表示します。
- (3) ◀▶ ボタンで「システムデライトビュー」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



シャープネス

映像のシャープ感を調整します。

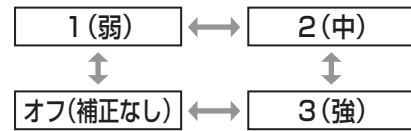
- (1) ▲▼ ボタンで「シャープネス」を選択する
- (2) ◀▶ またはエンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「シャープネス」個別調整画面を表示します。
- (3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	輪郭がシャープになります	0 ~ 15
◀ ボタンを押す	輪郭がやわらかくなります	

ノイズリダクション

入力された映像が劣化して、映像信号ノイズが発生している場合に切り換えます。

- (1) ▲▼ ボタンで「ノイズリダクション」を選択する
- (2) ◀▶ またはエンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「ノイズリダクション」個別調整画面を表示します。
- (3) ◀▶ ボタンで「ノイズリダクション」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



お願い:

- ノイズが少ない入力信号に対して設定すると、映像本来のイメージと違って見える場合があります。その際は「オフ」に設定してください。

AI

映像に合わせて階調制御を行い、コントラスト感のある最適な映像を投写します。

- (1) ▲▼ ボタンで「AI」を選択する
- (2) ◀▶ ボタンで「AI」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オン	AI 補正を有効
オフ	AI 補正を無効

システムセクター

本機は入力信号を自動判別しますが、不安定な信号を入力する場合は、手動でシステム方式を設定することができます。入力信号に合ったシステム方式を設定します。

- (1) ▲▼ ボタンで「システムセクター」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
- (3) ▲▼ ボタンでカラー方式を選択する
- (4) エンター (ENTER) ボタンを押して決定する

■ VIDEO/S-VIDEO 端子入力信号

AUTO、NTSC、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、SECAM、PAL60 から選択します。

お願い：

- 通常は「AUTO」に設定してください。
- それぞれのテレビの信号方式に設定を切り換えてください。日本国内では NTSC の信号方式が使われています。

お知らせ：

- 「AUTO」は、NTSC、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、SECAM、PAL60 の中から自動的に判別します。

■ RGB1/RGB2 端子入力信号

- 480i、576i、576p 入力時
RGB、YCbCr から選択します。
- VGA60、480p 入力時
VGA60、480p、480pRGB から選択します。
- 上記以外の動画信号入力時
RGB、YPbPr から選択します。

お知らせ：

- 対応する信号については、『取扱説明書』の「対応信号リスト」を参照してください。

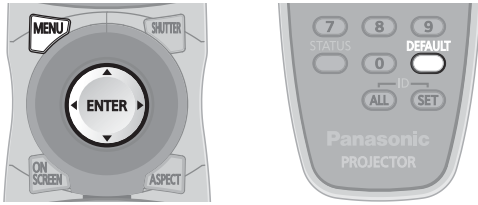
■ SDI 端子入力信号 (PT-DZ6710 のみ)

- AUTO、1 080/60i、1 035/60i、720/60p、1 080/24p、1 080/50i、1 080/30p、1 080/25p、1 080/24sF、720/50p、480i、576i から選択します。

「位置調整」について

「メニュー画面の操作方法」(P13 ページ) のメインメニューから「位置調整」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶▲▼ ボタンで調整してください。



シフト

本機とスクリーンの関係位置が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像位置がずれている場合は、上下左右に映像位置を移動させることができます。

(1) ▲▼ ボタンで「シフト」を選択する

(2) エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「シフト」画面を表示します。

(3) ▲▼◀▶ ボタンで位置調整する

■ 垂直位置 (上下) 調整の場合

操作	変化内容	
▲ ボタンを押す	映像位置が上へ移動します	
▼ ボタンを押す	映像位置が下へ移動します	

■ 水平位置 (左右) 調整の場合

操作	変化内容	
▶ ボタンを押す	映像位置が右へ移動します	
◀ ボタンを押す	映像位置が左へ移動します	

アスペクト

映像の縦横比 (アスペクト比) を切り換えます。「スクリーン設定」で選択したスクリーン範囲でアスペクトを切り換えます。「スクリーン設定」を先に設定してください。(P29 ページ)

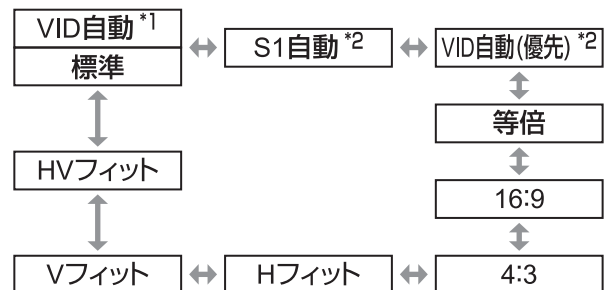
(1) ▲▼ ボタンで「アスペクト」を選択する

(2) ◀▶ またはエンター (ENTER) ボタンを押す

- 「アスペクト」個別調整画面を表示します。

(3) ◀▶ ボタンで「アスペクト」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



* 1 : VIDEO、S-VIDEO (NTSC) 入力時のみ

* 2 : S-VIDEO (NTSC) 入力時のみ

■ 標準

入力信号のアスペクト比のまま表示します。

■ VID 自動

映像信号に組み入れられたビデオ ID (VID) を識別し、4:3、16:9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。NTSC 信号入力時に有効です。

■ S1 自動

S1 信号を識別し、4:3、16:9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。S-VIDEO の NTSC 信号入力時に有効です。

■ VID 自動 (優先)

上記 VID、S1 信号を識別し、VID を検出した場合は VID に従い、VID を検出しない場合は S1 信号に従って 4:3、16:9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。S-VIDEO の NTSC 信号入力時に有効です。

■ 等倍

入力信号の解像度のまま表示します。

■ 16:9

標準信号入力時^{*3}は、アスペクト比を 16:9 に変換して表示します。ワイド信号入力時^{*4}は、入力アスペクト比のまま表示します。

4:3

標準信号入力時^{*3}は、入力アスペクト比のまま表示します。ワイド信号入力時^{*4}は、「スクリーンフォーマット」で「4:3」を選択している場合、アスペクト比を4:3に変換して表示します。「スクリーンフォーマット」が「4:3」以外の場合は、4:3スクリーンに収まるように入力アスペクト比のまま縮小して表示します。

Hフィット

「スクリーンフォーマット」で選択したスクリーン範囲の幅をすべて使って表示します。「スクリーンフォーマット」で選択されたスクリーンのアスペクトよりも縦長のアスペクト比を持つ信号は、画像の下が切れて表示されます。

Vフィット

「スクリーンフォーマット」で選択したスクリーン範囲の高さをすべて使って表示します。

HVフィット

「スクリーンフォーマット」で選択したスクリーン範囲全体に映像を表示します。入力信号とスクリーン範囲のアスペクト比が異なる場合は、「スクリーンフォーマット」で選択されたスクリーンのアスペクトに変換して表示します。

- * 3: 標準信号入力時とは、アスペクト比 4:3、5:4 の入力信号です。
- * 4: ワイド信号入力時とは、アスペクト比 16:10、16:9、15:9、15:10 の入力信号です。

お知らせ:

- 入力信号によっては選択できないサイズモードがあります。NTSC 信号の場合、標準は選択できません。
- 入力信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見え方に差が出ます。この点に注意して、アスペクト比を選択してください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト調整、ズーム機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、注意してください。
- ワイド画面ではない従来 (通常) の 4:3 の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、4:3 の映像でご覧ください。

ズーム

画面サイズを調整します。

- (1) ▲▼ ボタンで「ズーム」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「ズーム」画面を表示します。
- (3) ▲▼ ボタンで「垂直」、「水平」を選択し ◀▶ ボタンで調整する

■「アスペクト」の設定を「標準」にしている場合

- (1) ▲▼ ボタンで「モード」を選択する
- (2) ◀▶ ボタンで「モード」を切り換える

インターナル	「スクリーンフォーマット」で設定された工場出荷時のアスペクト領域内でサイズを拡大する
フル	「スクリーンフォーマット」で設定された表示エリアの全領域を使って拡大する

お知らせ:

- 「アスペクト」で「等倍」を選択した場合、ズーム調整は表示されません。
- 「アスペクト」で「標準」以外を選択した場合、「モード」切り換えは表示されません。

クロックフェーズ

画像のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

- (1) ▲▼ ボタンで「クロックフェーズ」を選択する
- (2) ◀▶ またはエンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「クロックフェーズ」個別調整画面を表示します。
- (3) ◀▶ ボタンで調整する
 - 調整値は、0 ~ 31 まで変化します。ノイズが少なくなるように調整してください。

お知らせ:

- 入力しているコンピューターの出力が不安定だと最適値がない場合があります。
- 総ドット数がずれていると最適値がない場合があります。
- 「クロックフェーズ」が調整できるのは、RGB1、RGB2 入力で信号を入力した場合のみです。
- ドットクロック周波数が 150 MHz 以上の信号を投写する場合は「クロックフェーズ」を調整してもノイズがなくなる場合があります。(PT-DW6300/PT-D6000/PT-D5000 の場合)
- デジタル信号入力時は調整することができません。

「位置調整」について (つづき)

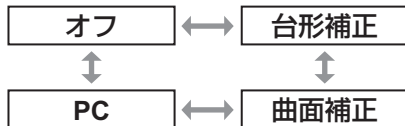
幾何学歪補正 (PT-DZ6710 のみ)

独自の画像処理技術により特殊な形状のスクリーンにスクエアな映像を投写することができます。

(1) ▲▼ ボタンで「幾何学歪補正」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「幾何学歪補正」の設定を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	幾何学歪補正を行いません
台形補正	投写映像が台形にゆがむ場合に調整します
曲面補正	投写映像が曲面にゆがむ場合に調整します
PC ※	コンピューターから幾何学歪補正を行います

※コンピューター制御にて幾何学補正を使用する場合には、熟練度を要します。販売店にご相談ください。

(3) 手順 (2) で「台形補正」または「曲面補正」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す

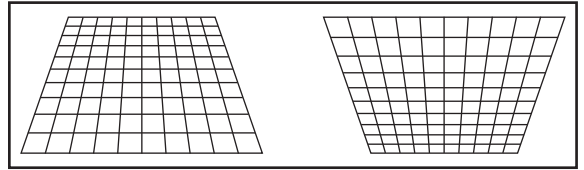
- 「幾何学歪補正：台形補正」または「幾何学歪補正：曲面補正」画面を表示します。

(4) ▲▼ ボタンで調整したい項目を選択し、◀▶ ボタンで補正量を調整する

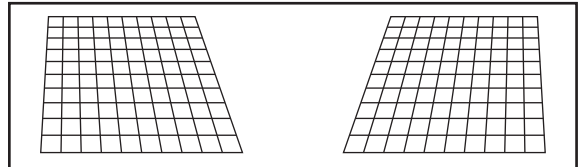
- 投写映像を補正することができます。

■ 台形補正メニュー

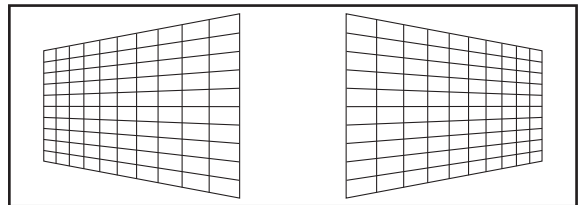
- 垂直台形補正



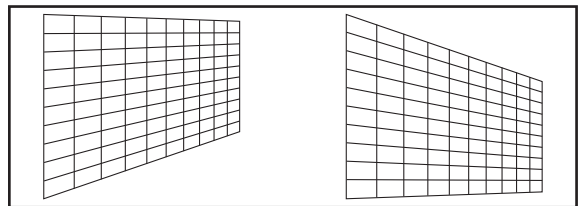
- 垂直サブ台形補正



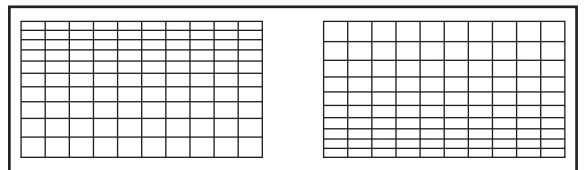
- 水平台形補正



- 水平サブ台形補正

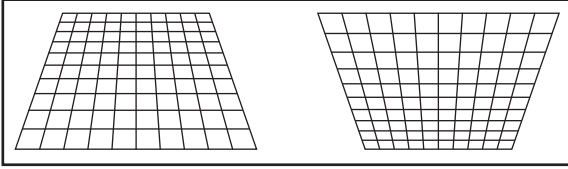


- リニアリティ

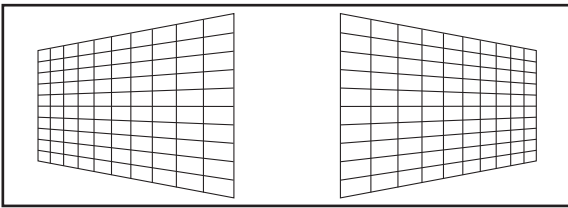


■ 曲面補正メニュー

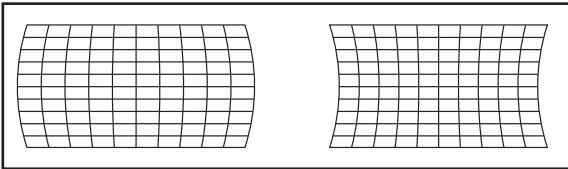
- レンズスローレシオ
ご使用のレンズのスローレシオを設定してください。
- 垂直台形補正



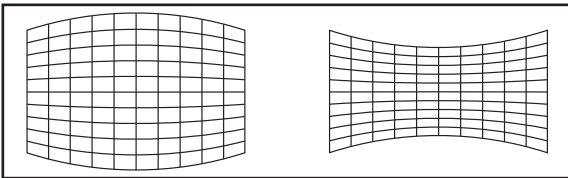
- 水平台形補正



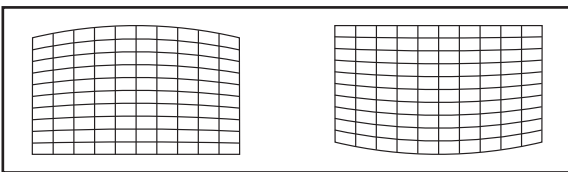
- 垂直弧



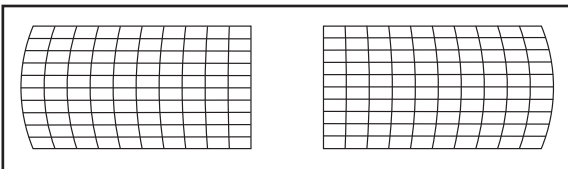
- 水平弧



- 垂直バランス



- 水平バランス



お知らせ:

- 「幾何学歪補正」を設定した場合、メニューやロゴがスクリーンからはみ出る場合があります。
- 「エッジブレンディング」の調整 (p.25 ページ) と幾何学歪補正を併用する場合は、環境によって正しくエッジブレンディング調整ができない場合があります。

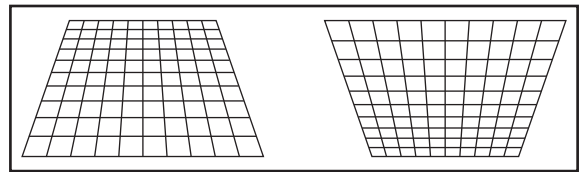
台形補正

(PT-DZ6700、PT-DW6300、PT-D6000、PT-D5000のみ)

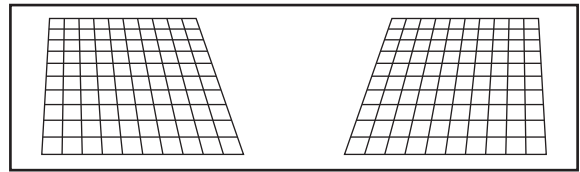
本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いている場合に発生する台形ひずみを補正します。

- (1) ▲▼ ボタンで「台形補正」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
- (3) 調整する項目を選ぶ
- (4) ◀▶ ボタンで調整する

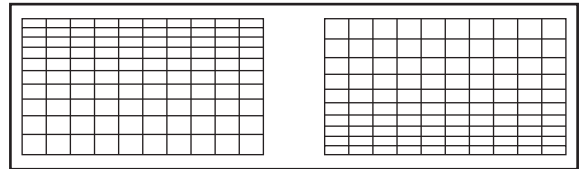
■ 台形補正



■ サブ台形補正



■ リニアリティ



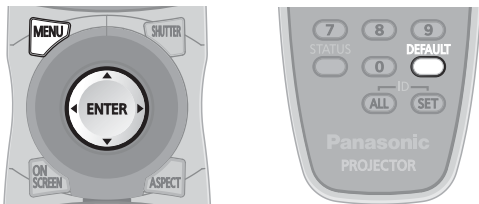
お知らせ:

- 「台形補正」を設定した場合、メニューやロゴがスクリーンからはみ出る場合があります。
- 「台形補正」は、縦方向の傾きに対して±40度まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。(ET-DLE055 使用時は±30度です。)
- 「台形補正」を行うと、画面サイズも変化します。
- レンズシフトの位置によっては、台形ひずみが発生します。
- 補正量、レンズズーム量によっては、画面サイズの縦横比がずれる場合があります。

「アドバンスドメニュー」について

「メニュー画面の操作方法」(P13 ページ) のメインメニューから「アドバンスドメニュー」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶▲▼ ボタンで調整してください。



デジタルシネマリアリティ

PAL (または SECAM) の 576i 信号や NTSC の 480i 信号、および 1 080/50i、1 080/60i 信号が入力されたとき、垂直解像度をさらに上げることができます。

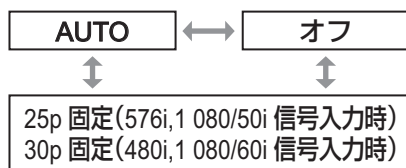
(1) ▲▼ ボタンで「デジタルシネマリアリティ」を選択する

(2) ◀▶ またはエンター (ENTER) ボタンを押す

- 「デジタルシネマリアリティ」個別調整画面を表示します。

(3) ◀▶ ボタンで「デジタルシネマリアリティ」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



AUTO	自動検出し、シネマ処理をする (工場出荷設定値)
オフ	シネマ処理をしない
25p 固定	576i または 1 080/50i 信号が入力されたとき強制シネマ処理 (2:2 プルダウン) になる
30p 固定	480i または 1 080/60i 信号が入力されたとき強制シネマ処理 (2:2 プルダウン) になる

お知らせ:

- 「デジタルシネマリアリティ」では、2:2 でプルダウンされた信号以外を「25p 固定」または、「30p 固定」に設定すると、画質が劣化します。(垂直解像度が悪くなります。)

ブランキング

ビデオデッキなどの映像投写時、画面端にノイズが出ている場合やスクリーンから画像がわずかにみ出ている場合などに「ブランキング」で微調整できます。

(1) ▲▼ ボタンで「ブランキング」を選択する

(2) エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「ブランキング」調整画面を表示します。

(3) ▲▼ ボタンで調整項目を選択する

(4) ◀▶ ボタンでブランキング調整する

- 下記の範囲で変化します。

PT-DZ6710、PT-DZ6700 の場合
左右 0 ~ 959、上下 0 ~ 599

PT-DW6300 の場合
左右 0 ~ 639、上下 0 ~ 399

PT-D6000、PT-D5000 の場合
左右 0 ~ 511、上下 0 ~ 383

画面上側ブランキング補正 (上) の場合	
◀ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、▶ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する	
画面下側ブランキング補正 (下) の場合	
▶ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、◀ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する	
画面左側ブランキング補正 (左) の場合	
▶ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、◀ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する	
画面右側ブランキング補正 (右) の場合	
◀ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、▶ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する	

入力解像度

画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

- (1) ▲▼ ボタンで「入力解像度」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「入力解像度」画面を表示します。
- (3) ▲▼ ボタンで「総ドット数」、「表示ドット数」、「総ライン数」または「表示ライン数」を選択し、◀▶ ボタンで調整する
 - 各項目には入力した信号に応じた数値が自動的に表示されます。画面に縦縞や画面欠けが発生する場合、表示された数値を上下させて画面を見ながら最適な点に調整してください。

お知らせ：

- 全白信号入力では上記縦縞は発生しません。
- 調整中に画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- 「入力解像度」の調整ができるのは、RGB1、RGB2 入力で RGB 信号を入力した場合のみです。
- ドットクロックが 150 MHz 以上の信号は調整できません。(PT-DW6300/PT-D6000/PT-D5000 の場合)

クランプ位置

映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合はクランプ位置調整で最良点にします。

- (1) ▲▼ ボタンで「クランプ位置」を選択する
- (2) ◀▶ ボタンで調整する
 - 調整値は 0 ~ 255 まで変化します。
 - クランプ位置調整の最適値
黒部分がつぶれている場合：
黒部分のつぶれがもっとも改善する点が最適値です。
黒部分が緑色になっている場合：
緑色部分が黒くなりつぶれが改善する点が最適値です。

お知らせ：

- 「クランプ位置」の調整ができるのは、RGB1、RGB2 入力で信号を入力した場合のみです。

エッジブレンディング

※ PT-D5000 では使用できません。

複数のセットを利用したマルチ画面での使用時に、つなぎ目を目立ちにくくする機能を備えています。

- (1) ▲▼ ボタンで「エッジブレンディング」を選択する
- (2) ◀▶ ボタンで「エッジブレンディング」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	マルチ画面で使用しないとき
オン	重なっている部分に明るさの傾斜を使用します

- (3) エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「エッジブレンディング」画面を表示します。

- (4) ▲▼ ボタンで補正する場所を指定する

- 上をつなぐ場合：「上」を「オン」
- 下をつなぐ場合：「下」を「オン」
- 左をつなぐ場合：「左」を「オン」
- 右をつなぐ場合：「右」を「オン」

- (5) ◀▶ ボタンを押して「オン」「オフ」を切り換える

- (6) ◀▶ ボタンで補正幅および開始位置を調整する

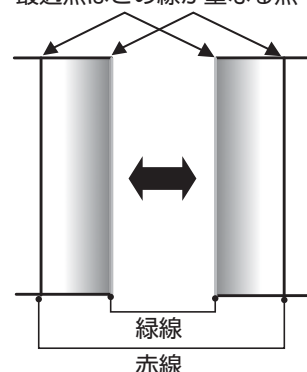
■ 調整用マーカを表示させる場合

- (7) ▲▼ ボタンで「マーカ」を選択する

- (8) ◀▶ ボタンで「オン」に切り換える

- 映像位置調整用のマーカが表示されます。つなぎ合わせるセット同士で赤と緑の線が重なる位置が最適点です。つなぎ合わせるセット同士の補正幅は必ず同じ値にしてください。補正幅が異なるセット同士では、最適なつなぎ合わせができなくなります。

最適点はこの線が重なる点

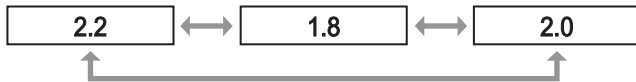


「アドバンスドメニュー」について (つづき)

(9) ▲▼ ボタンで「ガンマ選択」を選択する

(10) ◀▶ ボタンで「ガンマ選択」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



(11) ▲▼ ボタンで「黒レベル調整」を選択する

(12) エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「黒レベル調整」画面を表示します。

(13) ▲▼ ボタンで「黒レベルインサイド」を選択する

(14) エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「黒レベルインサイド」個別調整画面を表示します。
- 「連動」を「オフ」に設定すると、「赤」、「緑」、「青」の個別調整が可能です。

(15) ▲▼ ボタンで項目を選択し、◀▶ ボタンで調整する

- 調整が終わったら、メニュー (MENU) ボタンを押して「黒レベル調整」画面に戻ります。

(16) ▲▼ ボタンで「上」「下」「左」「右」を選択する

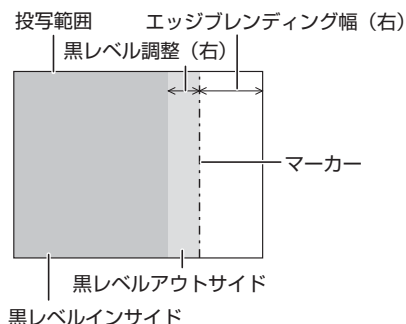
(17) ◀▶ ボタンで黒レベルインサイド補正する幅を調整する

(18) ▲▼ ボタンで「黒レベルアウトサイド」を選択する

(19) エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「黒レベル アウトサイド」個別調整画面を表示します。

(20) ▲▼ ボタンで項目を選択し、◀▶ ボタンで調整する



お知らせ:

- 黒レベル調整は、「エッジブレンディング」を用いてマルチ画面を構成した場合に、映像を重ね合わせた部分の「黒レベル」が明るくなるのを目立ちにくくする機能です。「黒レベルインサイド」を調整し、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の「黒レベル」が同じになる補正量が最適です。「黒レベルインサイド」を調整後、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の境目付近のみが明るくなる場合は、上、下、左、右の幅を調整してください。幅調整により境目付近のみ明るくなった場合は、「黒レベルアウトサイド」を調整してください。
- ゲインの高いスクリーンやリアスクリーン使用時は、見る位置によってつなぎ合わせ部が不連続に見えることがあります。

ラスターポジション

入力された映像が表示可能エリア全体を使用していない場合、映像を表示エリア内で任意の位置に移動させることができます。

(1) ▲▼ ボタンで「ラスターポジション」を選択する

(2) エンター (ENTER) ボタンを押す

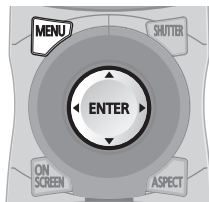
- 「ラスターポジション」画面を表示します。

(3) ▲▼◀▶ ボタンで位置調整する

「表示言語」について

「メニュー画面の操作方法」(P.13 ページ) のメインメニューから「表示言語」を選び、サブメニューを表示させます。

- ▲▼ ボタンで選び、エンター (ENTER) ボタンで言語の設定をしてください。



表示言語を切り換える

オンスクリーンの表示言語を切り換えることができます。

表示言語 (LANGUAGE)
ENGLISH
DEUTSCH
FRANÇAIS
ESPAÑOL
ITALIANO
● 日本語
中文
РУССКИЙ
한국어

- 切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
- 英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、日本語、中国語、ロシア語、韓国語の切り換えができます。

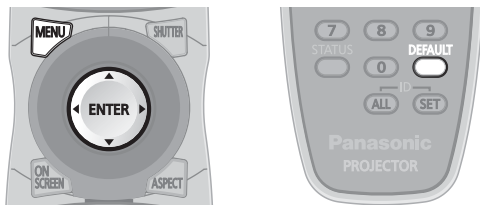
お知らせ：

- 本機は、日本語でオンスクリーン表示するように設定されています。(工場出荷時)

「表示オプション」について

「メニュー画面の操作方法」(P.13 ページ)のメインメニューから「表示オプション」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定してください。

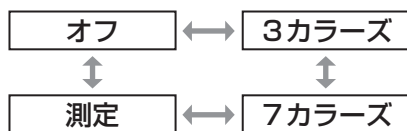


カラーマッチング

※ PT-D5000 では使用できません。

本機は複数のセットを同時に使うような用途で、セット間の色バラツキを補正する機能を備えています。

- (1) ▲▼ ボタンで「カラーマッチング」を選択する
- (2) ◀▶ ボタンで「カラーマッチング」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	カラーマッチングの調整をしません
3 カラーズ	「赤」「緑」「青」の3色を調整することができます
7 カラーズ	「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「白」の7色を調整することができます
測定	このモードについての詳細は、「測定器を用いたカラーマッチング調整」をご覧ください

■手順 (2) で「3 カラーズ」または「7 カラーズ」を選択した場合

- (3) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「3 カラーズ」または「7 カラーズ」画面を表示します。
- (4) ▲▼ ボタンで「赤」「緑」「青」(「7 カラーズ」の場合は、「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「白」) を選択する

(5) エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「3 カラーズ：赤」、「3 カラーズ：緑」、「3 カラーズ：青」または「3 カラーズ：白」画面を表示します。
- 「7 カラーズ」の場合は、「7 カラーズ：赤」、「7 カラーズ：緑」、「7 カラーズ：青」、「7 カラーズ：シアン」、「7 カラーズ：マゼンタ」、「7 カラーズ：イエロー」または「7 カラーズ：白」画面を表示します。

(6) ◀▶ ボタンで調整する

- 調整値は 0*1 ~ 2048 まで変化します。
- *1 : 調整する色によって調整値が異なります。

お知らせ：

- 調整色を補正する場合の動作
調整色と同じ補正色を動かす場合：調整色の輝度が増減します。
補正色赤を動かす場合：調整色に赤を加減します。
補正色緑を動かす場合：調整色に緑を加減します。
補正色青を動かす場合：調整色に青を加減します。
- 調整には熟練度を要しますのでプロジェクターに関する知識のある方もしくはサービスマンの方が調整を行ってください。
- 各調整項目はすべてデフォルト (DEFAULT) ボタンを押すと工場出荷値に戻すことができます。
- 「カラーマッチング」を「オフ」以外に設定した場合、「AI」と「カラーコレクション」は「オフ」に固定され、「色温度設定」は「ユーザー」に固定されます。(ただし「ホワイトバランス高」は調整できません。)

■測定器を用いたカラーマッチング調整

色度座標と輝度が測定できる色彩色度計を用いて「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「白」の色をお好みの色に変更することができます。

- 現在の輝度と色度座標を入力する
- 1) ▲▼ ボタンで「カラーマッチング」を選択する
 - 2) ◀▶ ボタンで「測定」を選択する
 - 3) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「カラーマッチング：測定」画面を表示します。
 - 4) ▲▼ ボタンで「測定データ」を選択する
 - 5) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「測定データ」画面を表示します。
 - 6) 色彩色度計で輝度 (Y) と色度座標 (x, y) を測定する
 - 7) ▲▼ ボタンで色を選択し、◀▶ ボタンで数値を調整する
 - 8) すべての入力が終わったら、メニュー (MENU) ボタンを押す
 - 「カラーマッチング：測定」画面を表示します。

「表示オプション」について (つづき)

● お好みの色の座標を入力する

9) ▲▼ ボタンで「ターゲットデータ」を選択する

10) エンター (ENTER) ボタンを押す
● 「ターゲットデータ」画面を表示します。

11) ▲▼ ボタンで色を選択し、◀▶ ボタンでお好みの色の座標を入力する

12) すべての入力が終わったら、メニュー (MENU) ボタンを押す

お知らせ：

- ターゲットデータが本機の色域外の場合、正しい色が表示できません。
- 「自動テストパターン」を「オン」にしておくと、選択された調整色の調整用テストパターンが自動的に表示されます。
- 色彩色差計などの計測器を使用して測定データを測定する場合は映像モード「ダイナミック」で測定してください。
- 使用される計測器および測定環境によってターゲットデータの色度座標と測定器の測定値にずれが発生する場合があります。

カラーコレクション

オフ	標準設定
ユーザー	VIDEO、S-VIDEO、RGB、YPbPr/YCbCr の 4 つの信号方式ごとに赤、緑、青、シアン、マゼンタ、イエローの 6 色を調整し、登録することができます。エンター (ENTER) ボタンを押し、詳細の設定を行ってください

コントラストモード

※ PT-D5000 では使用できません。

使用環境に合わせるために 2 種類のモードを持っています。

標準	明るさが最大になります
高	コントラストが最大になります

スクリーン設定

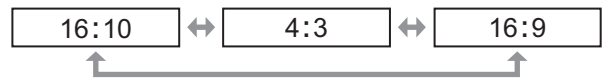
ご使用のスクリーンに合わせて設定してください。投写映像アスペクト変更の際に本機が設定したスクリーンサイズに合わせて最適な映像に補正します。

(1) ▲▼ ボタンで「スクリーン設定」を選択する

(2) エンター (ENTER) ボタンを押す
● 「スクリーン設定」画面を表示します。

(3) ◀▶ ボタンで「スクリーンフォーマット」を切り換える

■ PT-DZ6710/PT-DZ6700



■ PT-DW6300



■ PT-D6000/PT-D5000



(4) ◀▶ ボタンで「スクリーン位置」を調整する

- PT-DZ6710/PT-DZ6700 の場合、スクリーンフォーマットが「16:9」の場合 -60 ~ +60 まで調整できます。スクリーンフォーマットが「4:3」の場合 -160 ~ +160 まで調整できます。
- PT-DW6300 の場合、-40 ~ +40 まで調整できます。
- PT-D6000/PT-D5000 の場合、-96 ~ +96 まで調整できます。

お知らせ：

- PT-DZ6710/PT-DZ6700/PT-DW6300 で「スクリーンフォーマット」が「16:10」のとき、または PT-D6000/PT-D5000 で「スクリーンフォーマット」が「4:3」のとき、「スクリーン位置」は調整できません。

入力自動セットアップ

会議などで未登録の信号を頻繁に入力する場合、その都度リモコンのオートセットアップ (AUTO SETUP) ボタンを押さなくても画面表示位置を自動で調整することができます。

(1) ▲▼ ボタンで「入力自動セットアップ」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「入力自動セットアップ」機能を切り換える



オフ	入力自動セットアップ機能をオフにします
オン	投写中の映像が、未登録の信号に変わった場合、自動的にオートセットアップを行います

「表示オプション」について (つづき)

自動調整

特殊な信号や標準の設定では正しく自動調整が行われない場合に設定を切り換えてください。

- (1) ▲▼ ボタンで「自動調整」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「自動調整」画面を表示します。
- (3) ◀▶ ボタンで「モード」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



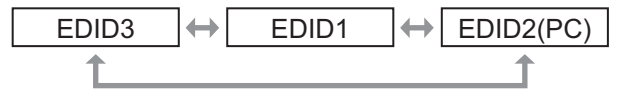
標準	画像アスペクトが 4:3、5:4 の信号を受像する場合 (対応解像度は、640 × 400、640 × 480、800 × 600、832 × 624、960 × 720、1 024 × 768、1 152 × 864、1 152 × 870、1 280 × 960、1 280 × 1 024、1 600 × 1 200、1 400 × 1 050 です)
ワイド	画像アスペクトがワイドの信号を受像する場合 (対応解像度は、720 × 400、848 × 480、1 280 × 720、1 024 × 600、1 120 × 750、1 440 × 900、1 680 × 1 050 です)
ユーザー	特殊な水平解像度 (表示ドット数) の信号を受像する場合

- (4) 「ユーザー」を選択した場合は ◀▶ ボタンで「表示ドット数」に信号源の水平解像度を入力する
- (5) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「自動調整」を実行します。自動調整中は「実行中」と表示されます。終了すると入力画面に戻ります。

DVI-D IN

本機と外部機器とを DVI で接続している時に正常な映像が映らない場合は、設定を切り換えてください。

- (1) ▲▼ ボタンで「DVI-D IN」を選択する
- (2) ◀▶ ボタンで「DVI-D EDID」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



EDID3	動画系、静止画系の映像信号を自動的に切り換えて投写します
EDID1	動画系の映像信号を出力する外部機器 (DVD プレイヤーなど) が DVI-D IN に接続されているときに主に選択します
EDID2 (PC)	静止画系の映像信号を出力する外部機器 (コンピューターなど) が DVI-D IN に接続されているときに主に選択します

- (3) ◀▶ ボタンで「DVI 信号レベル」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



0-255 : PC	外部機器 (コンピューターなど) が DVI 端子出力で接続している場合などで選択します
16-235	外部機器 (DVD プレイヤーなど) が HDMI 端子出力で変換ケーブルなどを使用し接続している場合などで選択します

お知らせ:

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を変更するとプラグアンドプレイ用のデータが変更されます。プラグアンドプレイ対応可能な解像度は『取扱説明書』の「対応信号リスト」をご確認ください。

「表示オプション」について (つづき)

SDI IN (PT-DZ6710のみ)

入力する信号の振幅を選択します。
HD-SDI の YPbPr、RGB 入力時のみ有効です
(1) ▲▼ ボタンで「SDI IN」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「SDI 信号レベル」を切り換える
● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



64-940	通常はこの設定にしてください
4-1019	グレーが黒く表示される場合

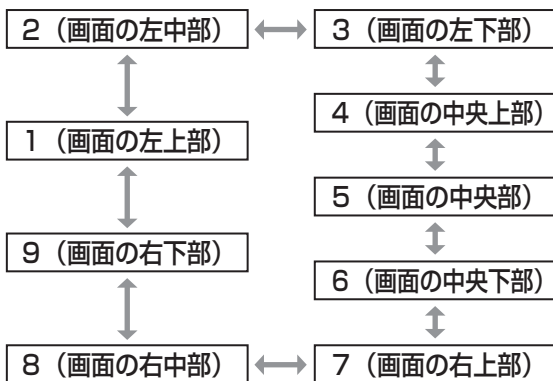
オンスクリーン表示

スクリーン表示の設定ができます。
(1) ▲▼ ボタンで「オンスクリーン表示」を選択する

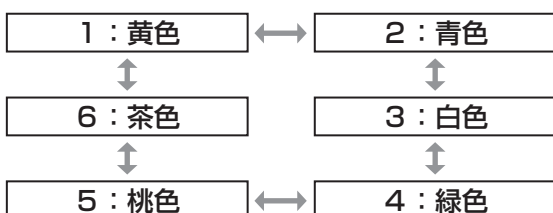
(2) エンター (ENTER) ボタンを押す
● 「オンスクリーン表示」画面を表示します。

(3) ▲▼ ボタンで項目を選択し、◀▶ ボタンで切り換える

■ OSD 位置
オンスクリーンメニュー (OSD) の位置を設定します。



■ OSD デザイン
オンスクリーンメニュー (OSD) の色を設定します。



■ OSD メモリー
オンスクリーンメニュー (OSD) のカーソルの位置の保持状態を設定できます。



お知らせ:
● 「オン」に設定している場合でも、本体の主電源を「オフ」にすると、カーソル位置は保持されません。

■ 入力ガイド
「OSD 位置」で設定された位置に現在選択している入力端子名を表示するかを設定します。



■ 警告メッセージ
警告メッセージの表示を設定します。

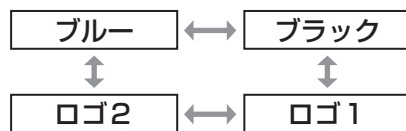


バックカラー

信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

(1) ▲▼ ボタンで「バックカラー」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「バックカラー」を切り換える
● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



ブルー	投写画面全体に青色を表示
ブラック	投写画面全体に黒色を表示
ロゴ1	投写画面にユーザーが登録した画像を表示します
ロゴ2	投写画面に Panasonic ロゴを表示します

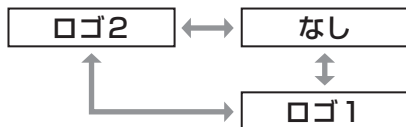
お知らせ:
● 「ロゴ1」の画像作成には、別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。

「表示オプション」について (つづき)

スタートアップロゴ

電源を入れたときのロゴ表示を設定します。

- (1) ▲▼ ボタンで「スタートアップロゴ」を選択する
- (2) ◀▶ ボタンで「スタートアップロゴ」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



ロゴ2	Panasonic ロゴを表示します
なし	スタートアップロゴ表示を無効にします
ロゴ1	ユーザーが登録した画像を表示します

お知らせ:

- 「ロゴ1」の画像作成には、別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。
- スタートアップロゴは、約 30 秒で消えます。

フリーズ

外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止させます。

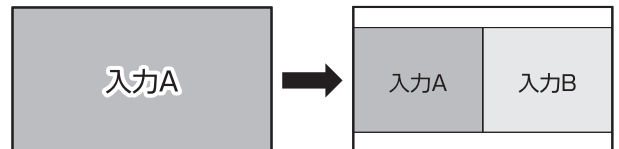
- (1) ▲▼ ボタンで「フリーズ」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - メニュー (MENU) ボタン押すと解除されます。

2画面

(PT-DZ6710、PT-DZ6700、PT-DW6300 のみ)

異なる2つの入力信号を、同時に表示できます。

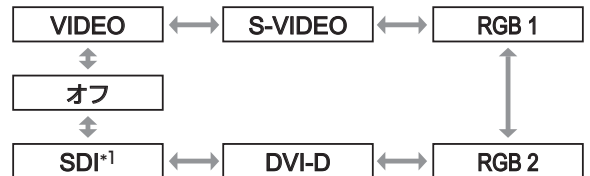
- (1) ▲▼ ボタンで「2画面」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 2画面表示します。



- (3) メニュー (MENU) ボタンを押す
 - 「サブ入力選択」画面を表示します。
- (4) ▲▼ ボタンで入力 B に表示させたい映像を選択します
- (5) エンター (ENTER) ボタンを押す

■ 2画面表示中のボタン機能

画面左 (入力 A) 側に対して、画面右 (入力 B) 側に ▲▼ ボタンで、表示させたい映像を選択する



* 1 : PT-DZ6710 のみ

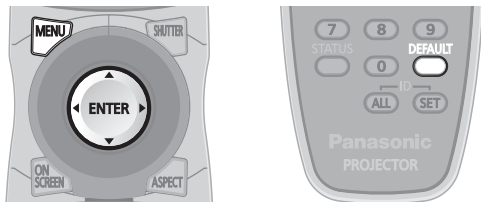
お知らせ:

- 2画面表示を解除するには、「オフ」を選択しエンター (ENTER) ボタンを押します。
- 「フリーズ」は入力 A 側に対して設定されます。
- 2画面表示中は、メニュー項目の調整・設定はできません。
- 「映像」の設定は、入力 A 側の値が適用されます。(「ピクチャー」、「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」については、入力 A、B それぞれの値が適用されます。)
- アスペクトメニューで選択したアスペクト比を保持したまま2画面表示します。
- 入力信号の組み合わせによっては、2画面表示ができない場合があります。詳しくは「2画面表示組み合わせ一覧表」(P.62 ページ) をご覧ください。

「プロジェクターセットアップ」について

「メニュー画面の操作方法」(P13 ページ) のメインメニューから「プロジェクターセットアップ」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定してください。



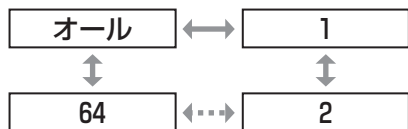
プロジェクター ID

本機には ID ナンバーの設定機能があり、本機を複数台並べてご使用の場合には、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

(1) ▲▼ ボタンで「プロジェクター ID」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「プロジェクター ID」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



お知らせ:

- ID ナンバーは「オール」「1」～「64」まで設定可能です。
- ID ナンバーを指定した場合は、リモコンの ID ナンバーを本機の ID ナンバーに合わせる必要があります。
- ID ナンバー「オール」に設定すると、リモコンまたはコンピューターで制御の際、何番を指定しても ID ナンバー「オール」の本機は動作します。本機を複数台並べて設置する場合、ID ナンバーを「オール」に設定していると、他の ID ナンバーを設定した本機と分けて制御することができなくなります。リモコンの ID 設定の方法は取扱説明書内の「リモコンの ID ナンバーを指定する」をご参照ください。

設置設定

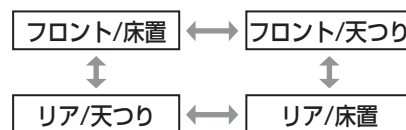
本機の設置状態に合わせて、投写方式の設定ができます。画面表示が上下逆になったり、反転して映っている場合は、投写方式を変更してください。

- リモコンまたは本体操作部のボタン操作でオンスクリーン画面を表示させて設定します。

(1) ▲▼ ボタンで「設置設定」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「設置設定」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



フロント/床置	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
フロント/天つり	スクリーン前方にある天つり金具(別売品)を使用して設置する場合
リア/床置	スクリーン後方(透過式スクリーン使用)にある机の上などに設置する場合
リア/天つり	スクリーン後方(透過式スクリーン使用)に天つり金具(別売品)を使用して設置する場合

高地モード

海拔 1 400 m ~ 2 700m の場所で使用する場合は、「オン」に設定します。

(1) ▲▼ ボタンで「高地モード」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「高地モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	通常的环境下で使用する場合
オン	高地で使用する場合

お知らせ:

- 「オン」に設定した場合、ファンの回転数が上がり、動作音が大きくなります。

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

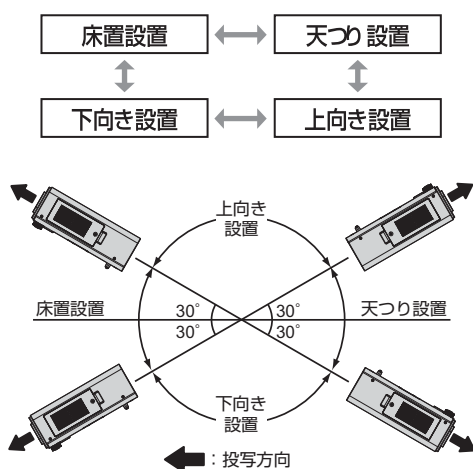
ファン制御

投写する方向によってファンの制御を変更します。投写する方向に合わせて、「ファン制御」を正しく設定してください。誤った設定のまま使用するとランプの寿命を早める原因になります。

(1) ▲▼ ボタンで「ファン制御」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「ファン制御」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



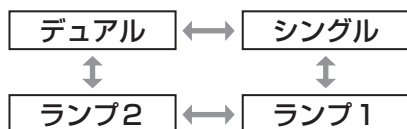
ランプ選択

本体に内蔵されている 2 個の光源ランプを、使用条件や目的に合わせ「デュアル」と「シングル」の明るさに切り換えができます。またシングルではランプの自動切り換えと 2 灯のうちどちらか 1 灯を点灯する設定ができます。

(1) ▲▼ ボタンで「ランプ選択」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「ランプ選択」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



デュアル	2 灯が点灯します
シングル	1 灯が点灯します (使用時間の短いランプを自動選択します)
ランプ1	ランプユニット 1 が常に点灯します
ランプ2	ランプユニット 2 が常に点灯します

(3) エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ:

- 「シングル」、「ランプ1」、「ランプ2」のとき、ランプが不点灯状態になったり、使用時間が 2 000 時間^{*1} (ランプ出力「高」設定時^{*2}) を超えたりするともう一方のランプが点灯します。「デュアル」のとき、いずれかのランプが不点灯状態になったり、使用時間が 2 000 時間^{*1} (ランプ出力「高」設定時^{*2}) を超えたりするともう一方のランプのみ点灯します。ただし、ランプ 2 灯とも不点灯状態になったり、どちらのランプも 2 000 時間^{*1} (ランプ出力「高」設定時^{*2}) を超えている場合、本機はスタンバイ状態になります。
- 項目の色は状態を示しています。
 - 緑→現在の設定
 - 黄→現在の設定 (失灯か点灯に失敗しているランプがあるとき)
 - 赤→点灯に失敗したランプ
 - 白→上記以外
- 短時間の使用を繰り返すと、ランプの交換サイクルが早くなります。

* 1 : PT-D5000 では 3 000 時間になります。

* 2 : PT-D5000 では使用できません。

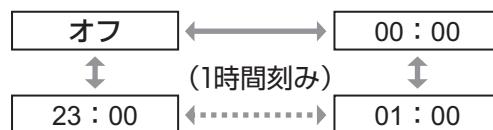
ランプリレー

24 時間以上連続で使用する場合、点灯するランプを自動で切り換えることによりランプの連続使用による劣化を軽減することができます。

(1) ▲▼ ボタンで「ランプリレー」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「ランプリレー」を切り換える

- ボタンを押すごとに、ランプを切り換える時刻設定が下図のように切り換わります。



お知らせ:

- 「ランプ選択」で「デュアル」、「シングル」選択時のみ「ランプリレー」機能は有効です。
- 「ランプ選択」で「デュアル」選択時は設定した時刻から 4 時間の間はランプ 1 灯のみ点灯状態となります。
- 時刻はローカル時刻で動作します。
(P.37 ページ)

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

ランプ出力

※ PT-D5000 では使用できません。

本体の使用環境や目的に合わせてランプの明るさを切り換えることができます。

(1) ▲▼ ボタンで「ランプ出力」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「ランプ出力」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



高	高い輝度が必要なときに設定
低	高い輝度を必要としないときに設定

お知らせ:

- 「低」の場合は、消費電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命をのばすことができます。

スタンバイモード

スタンバイ時の電力を設定できます。

(1) ▲▼ ボタンで「スタンバイモード」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「スタンバイモード」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



お知らせ:

- エコに設定した場合、スタンバイ時にネットワーク機能と RS-232C OUT が使えません。また、RS-232C コマンドの一部が使えません。電源オンの出画が「ノーマル」設定時と比べて約 10 秒遅くなる場合があります。
- ノーマルに設定した場合、スタンバイ時にネットワーク機能と RS-232C OUT が使えます。

RS-232C

通信条件を設定します。

(1) ▲▼ ボタンで「RS-232C」を選択する

(2) エンター (ENTER) ボタンを押す

(3) ▲▼ ボタンを押して通信条件を選択する

(4) ◀▶ ボタンを押して設定する

お知らせ:

- 「シリアル端子について」をご覧ください。(P59 ページ)

REMOTE2 端子モード

REMOTE2 端子を設定します。

(1) ▲▼ ボタンで「REMOTE2 端子モード」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「REMOTE2 端子モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



標準	REMOTE2 端子のピン配列を本機標準の設定で使用します (P61 ページ)
ユーザー	REMOTE2 端子の設定を変更する場合に使用します エンター (ENTER) ボタンで 2 番ピンから 8 番ピンまでの設定を変更することができます

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

ステータス

本機のステータスを見ることができます。

- (1) ▲▼ ボタンで「ステータス」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
- (3) ◀▶ ボタンを押してページを移動することができます

入力	現在選択されている入力端子を表示します
名前	入力信号名を表示します
信号周波数	入力信号の周波数を表示します
プロジェクター使用時間	プロジェクターの稼働時間を表示します
ランプ1 *1	ランプ1の点灯時間を表示します
ランプ2 *1	ランプ2の点灯時間を表示します
吸気温度	プロジェクターの吸気温度状態を表示します
光学モジュール温度	プロジェクターの内部温度状態を表示します
ランプ周辺温度	プロジェクターのランプ周辺温度状態が表示されます
フィルター残量 *2	フィルターの残量を表示します
プロジェクタータイプ	プロジェクターの種類を表示します
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します
メインバージョン	本機のファームウェアのメインバージョンを表示します
サブバージョン	本機のファームウェアのサブバージョンを表示します
ネットワークバージョン	本機のネットワークバージョンを表示します
オンカウント	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーオン： 電源を入れた回数を表示します ● ランプ1オン： ランプ1の点灯回数を表示します ● ランプ2オン： ランプ2の点灯回数を表示します ● シャッター： シャッター機能の使用回数を表示します
ランプ1 *3	使用時間の詳細を表示します
ランプ2 *3	使用時間の詳細を表示します

登録信号数	登録信号数を表示します
REMOTE2ステータス	REMOTE2の制御状態を表示します

- *1：表示されるランプ時間は実時間です。
ランプ交換の目安を算出するには、以下のよう
な換算式が必要になります。
- $$\left[\begin{array}{l} \text{ランプ交換の時間} = \\ \text{ランプ出力「高」使用時間} + \\ (\text{ランプ出力「低」使用時間} \times 2 \div 3) \end{array} \right]$$
- (PT-D5000の場合は、換算の必要はありません。)
- *2：フィルター残量
ステータスの残量表示は、ACFの残量が8%
になると黄色になり、0%になると赤色になり
ます。
使用環境により異なりますが、8%に切り換わ
るのは残量が約200時間が目安です。
- *3：PT-D5000では表示されません。

フィルター残量リセット

ACFユニットを交換後、◀▶ ボタンで「実行」を選
択し、エンター (ENTER) ボタンを押すとリセット
されます。

お知らせ：

- ACFユニットを交換する場合は、『取扱説明書』の
「ACFユニットの交換手順」をご覧ください。

無信号自動オフ

設定時間までに入力信号が無いと、自動的に本機の
電源をスタンバイ状態にします。

- (1) ▲▼ ボタンで「無信号自動オフ」を選
択する
- (2) ◀▶ ボタンで「無信号自動オフ」を
切り換える

無効	無信号自動オフ無効
10分～90分	10分間隔で設定可能

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

ファンクションボタン

リモコンの FUNCTION ボタンの機能を設定します。

- (1) ▲▼ ボタンで「ファンクションボタン」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
- (3) ▲▼ ボタンで機能を選択する

無効	FUNCTION ボタンを無効にします
サブメモリー	サブメモリーの切り換えができます
システムセクター	システムセクターの切り換えができます
システムダイライトビュー	システムダイライトビューの切り換えができます
フリーズ	映像を一時的に静止画の状態にすることができます
2画面 *1	2画面表示に切り換えができます

*1 : PT-DZ6710、PT-DZ6700、PT-DW6300のみ

- (4) エンター (ENTER) ボタンを押す

日付と時刻

本機内蔵時計のタイムゾーンと日時を設定できます。

- (1) ▲▼ ボタンで「日付と時刻」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
- (3) ▲▼ ボタンで「タイムゾーン」を選択する
- (4) ◀▶ ボタンで「タイムゾーン」を切り換える
- (5) ▲▼ ボタンで「時刻設定」を選択する
- (6) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「時刻設定」画面を表示します。
- (7) ▲▼ ボタンで設定したい項目を選択し、◀▶ ボタンでローカル日時を設定する
- (8) ▲▼ ボタンで「設定」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 時刻設定が完了します。

全ユーザーデータ保存

各種設定値をプロジェクター内部のメモリにバックアップとして保存します。

- (1) ▲▼ ボタンで「全ユーザーデータ保存」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「セキュリティパスワード」画面を表示します。
- (3) 「セキュリティパスワード」を入力する
 - 確認画面が表示されます。
- (4) ◀▶ ボタンで「実行」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ：

- 「ネットワーク /E メール」、「ロゴイメージ」の設定は保存されません。

全ユーザーデータロード

プロジェクター内部のメモリにバックアップとして保存した各種設定値を読み込みます。

- (1) ▲▼ ボタンで「全ユーザーデータロード」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「セキュリティパスワード」画面を表示します。
- (3) 「セキュリティパスワード」を入力する
 - 確認画面が表示されます。
- (4) ◀▶ ボタンで「実行」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ：

- 実行すると、プロジェクターは設定値を反映させるためスタンバイ状態になります。

「プロジェクターセットアップ」について (つづき)

初期化

各種設定値を工場出荷時の値に戻します。

- (1) ▲▼ ボタンで「初期化」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「セキュリティパスワード」画面を表示します。
- (3) 「セキュリティパスワード」を入力する
 - 「初期化」画面を表示します。

全ユーザーデータ	「登録信号」、「ネットワーク設定」、「Eメール設定」、「ロゴイメージ」を含めた全設定値を工場出荷時の値に戻します 設定値を反映させるために、プロジェクターはスタンバイ状態になります
登録信号	入力信号ごとに保存している設定値をすべて消去します 登録信号の一部分だけを消去する場合は、「登録した信号を削除する」(☞ 40 ページ)を行ってください
ネットワーク / Eメール	「ネットワーク設定」、「Eメール設定」を工場出荷時の値に戻します
ロゴイメージ	「ロゴ 1」に登録された画像を工場出荷時の画像に戻します

- (4) ◀▶ ボタンで初期化したい項目を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 確認画面が表示されます。
- (5) ◀▶ ボタンで「実行」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す

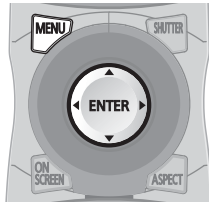
サービスパスワード

サービスマンが使用します。

「テストパターン」について

「メニュー画面の操作方法」(P.13 ページ) のメインメニューから「テストパターン」を選びます。

- ◀▶ ボタンで切り換えてください。



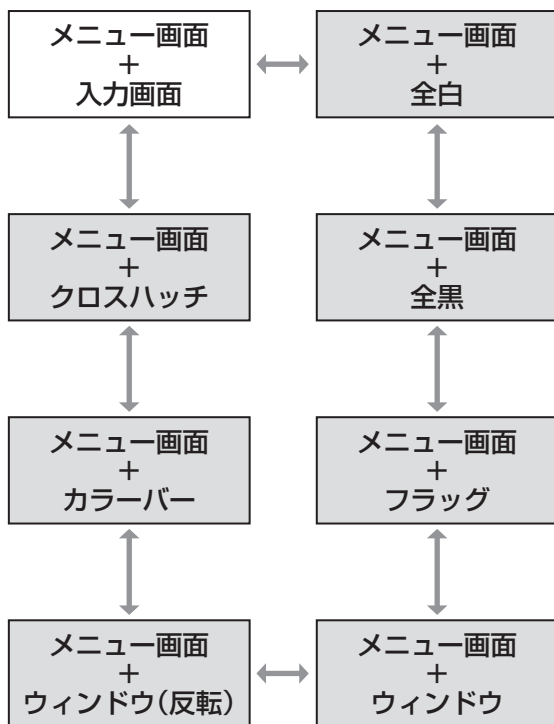
テストパターン

本機内部のテストパターンを表示します。

(1) ▶▶ ボタンで各種テストパターンを切り換える

■ 内蔵テストパターンの表示チャート

▶▶ ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

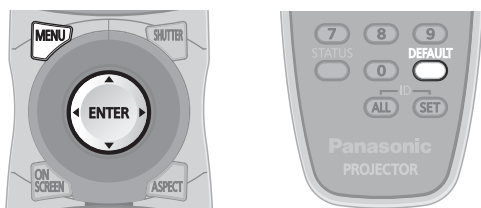


お知らせ:

- 位置、サイズなどの入力映像での調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

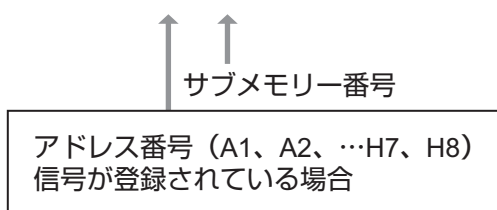
「登録信号一覧」について

「メニュー画面の操作方法」(P13 ページ) のメインメニューから「登録信号一覧」を選びます。



登録信号詳細

- 名前は、サブメモリーごとに設定可能です。
- メモリー番号：A1(1-2)



新規登録

新規信号が入力され、リモコンまたは本体操作部のメニュー (MENU) ボタンを押すと登録が完了し、「メインメニュー」画面が表示されます。

お知らせ：

- 本機に対して登録できるサブメモリーは基本信号を含めて 96 個までです。
- メモリー番号は 12 ページ (A ~ L 各 8 メモリー、1 ページに 8 メモリーが可能) あり、空いているメモリーの中で若い番号に登録されます。メモリーの空きがない場合は古い信号から順番に上書きされます。
- 登録の名前は入力信号とメモリー番号により自動で決定されます。
- メニューが表示されている場合は、新規信号が入力された時点で登録が完了します。

登録信号の名前の変更

- (1) ▲▼◀▶ ボタンで詳細を表示したい信号を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「登録信号詳細」画面を表示します。
 - 入力信号の名前、メモリー番号、入力端子、周波数、同期信号などが表示されます。
 - メニュー (MENU) ボタンを押すと「登録信号一覧」画面に戻ります。
- (3) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「登録信号名変更」画面を表示します。
- (4) ▲▼◀▶ ボタンで 1 文字ずつ選び、エンター (ENTER) ボタンで文字や数字を設定する
- (5) 名前の変更を完了後 ▲▼◀▶ ボタンで「OK」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 登録が完了し「登録信号詳細」画面に戻ります。
 - ▲▼◀▶ ボタンで「CANCEL」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押すと変更した信号名は登録されず、自動登録された信号名のままになります。

登録した信号を削除する

- (1) ▲▼◀▶ ボタンで削除する信号を選択する
- (2) デフォルト (DEFAULT) ボタンを押す
 - 「登録信号削除」画面を表示します。
 - 削除しない場合はメニュー (MENU) ボタンを押すと「登録信号一覧」画面に戻ります。
- (3) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 選択した信号が削除されます。


サブメモリーについて

本機は同期信号源の周波数や形態により同一信号と判断した場合でも画像調整データを複数登録できるサブメモリー機能を持っています。同一信号源によるアスペクト切り換えやホワイトバランス等、画質調整が必要な場合にご使用ください。サブメモリーには画面アスペクト比、映像項目で調整したデータ（ピクチャー、黒レベル等）など各信号ごとに調整できるデータすべてを含みます。

■サブメモリーへの登録方法

- (1) 通常画面（メニューが表示されていない状態）において ◀▶ ボタンを押す
 - サブメモリーが登録されていない場合はサブメモリー登録確認画面を表示します。
 - 現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。
 - 「プロジェクターセットアップ」の「ファンクションボタン」メニューで「サブメモリー」を選択すると、◀▶ ボタンの代わりにファンクション（FUNCTION）ボタンを使用することができます。
- (2) 「サブメモリー一覧」において ▲▼◀▶ ボタンで登録するサブメモリー番号を選択する
- (3) エンター（ENTER）ボタンを押す
 - 「登録信号名変更」画面を表示します。
- (4) エンター（ENTER）ボタンを押す

お知らせ：

- 登録信号の名前を変更する場合は、「登録信号の名前の変更」（ 40 ページ）の手順（4）、（5）を行ってください。

■サブメモリーへの切り換え方法

- (1) 通常画面（メニューが表示されていない状態）において ◀▶ ボタンを押す
 - 現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。
- (2) 「サブメモリー一覧」において ▲▼◀▶ ボタンで切り換える信号を選択する
- (3) エンター（ENTER）ボタンを押す
 - 手順（2）で選択した信号に切り換わります。

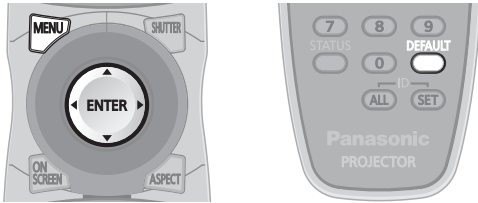
■サブメモリーの削除方法

「登録信号一覧」画面でデフォルト（DEFAULT）ボタンを押すことにより、現在選択されているサブメモリーを削除します。

「セキュリティ」について

「メニュー画面の操作方法」(P13 ページ)のメインメニューから「セキュリティ」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- はじめてご使用になる場合
初期パスワード：「▲▼◀▶」ボタンを順に押し、エンター「ENTER」ボタンを押してください。
- 項目を選んだら◀▶ボタンで設定してください。



お願い：

- セキュリティ画面を表示してから行ってください。
- 以前にパスワードを変更した場合、変更後のパスワードを入力し、エンター「ENTER」ボタンを押してください。

お知らせ：

- 入力したパスワードは画面上では、*印で表示されます。

セキュリティパスワード

電源を入れたときに「セキュリティパスワード」画面を表示させることができます。正しくパスワードを入力しないと、電源スタンバイ(⏻)ボタン、シャッターボタン、レンズ調整以外の操作ができなくなります。

(1) ▲▼ ボタンで「セキュリティパスワード」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「セキュリティパスワード」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	セキュリティパスワード入力を無効
オン	セキュリティパスワード入力を有効

お知らせ：

- お買い上げ時、または全ユーザーデータの初期化をしたあと、パスワード設定は「オフ」になっています。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- 正しくパスワードを入力しないと、電源ボタン以外の操作ができなくなります。

セキュリティパスワード変更

セキュリティパスワードを変更することができます。

(1) ▲▼ ボタンで「セキュリティパスワード変更」を選択する

(2) エンター (ENTER) ボタンを押す

- 「セキュリティパスワード変更」画面を表示します。

(3) ▲▼◀▶ ボタンでパスワードを設定する

- 最大 8 つのボタン操作を設定できます。

(4) エンター (ENTER) ボタンを押す

(5) 確認のため、再度パスワードを入力する

(6) エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ：

- 入力したパスワードは画面上では、*印で表示されます。
- パスワードを間違えると、画面上にエラーメッセージが表示されます。再度正しいパスワードを入力してください。

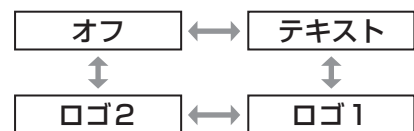
表示設定

投写中の映像に、文字や画像を表示させることができます。

(1) ▲▼ ボタンで「表示設定」を選択する

(2) ◀▶ ボタンで「表示設定」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	テキスト表示を無効
テキスト	テキスト表示を有効
ロゴ1	ユーザーが登録した画像を表示
ロゴ2	Panasonic ロゴを表示

お知らせ：

- 「ロゴ2」に設定すると、通常の投写状態でロゴが全画面表示されます。メニューボタンを押してロゴ表示を解除してもメニュー画面が表示されているため、映像全体を見ることはできません。
- 「ロゴ1」の画像作成には、別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。

テキスト変更

「表示設定」で「テキスト」を選択し、テキスト表示を有効にした時に表示する文字を変更することができます。

- (1) ▲▼ ボタンで「テキスト変更」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「テキスト変更」画面を表示します。
- (3) ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す、入力する
- (4) 「OK」を押す
 - テキストが変更されます。

メニューロック

「メニュー」ボタンでメニューを表示し、メニュー操作できるかを設定します。

- (1) ▲▼ ボタンで「メニューロック」を選択する
- (2) ◀▶ ボタンで「メニューロック」を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オフ	メニューのロック解除
オン	メニューのロック

お知らせ:

- 「メニューロック」を「オン」に設定後、正しくパスワードを入力しないと「メニュー」ボタンの操作ができなくなります。
- お買い上げ時、または全ユーザーデータ初期化後、パスワード設定は「オフ」になっています。
- ロック解除の状態は、本機がスタンバイ状態になるまで維持されます。

メニューロックパスワード

メニューロックパスワードを変更することができます。

- (1) ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す、入力する
- (2) 「OK」を押す
 - 中止する場合は「キャンセル」を選んでください。

お願い:

- はじめてご使用になるとき、または全ユーザーデータ初期化後、初期のパスワードは「AAAA」です。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。

操作設定

本体操作部とリモコンのボタン操作の有効 / 無効を設定します。

- (1) ▲▼ ボタンで「操作設定」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「操作設定」画面を表示します。
- (3) ▲▼ ボタンで「本体操作部」または「リモコン」を選択する
- (4) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「本体操作部」画面または「リモコン」画面を表示します

■ 本体操作部

- 本体操作部からの制御の制限を設定できます。

有効	本体ボタン操作有効
無効	本体ボタン操作無効

■ リモコン

- リモコンからの制御の制限を設定できます。

有効	リモコンボタン操作有効
無効	リモコンボタン操作無効

- (5) ▲▼ ボタンで「有効」または「無効」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 確認画面が表示されます。
- (6) ◀▶ ボタンで「実行」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す

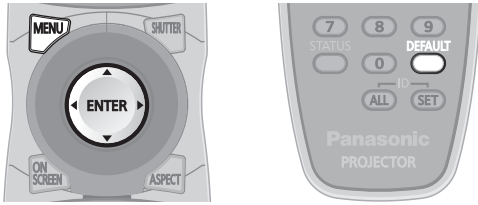
お知らせ:

- 「無効」に設定した側の機器でボタン操作を行うと、パスワード画面が表示されます。「セキュリティ」で設定したパスワードを入力してください。
- セキュリティパスワード画面はメニュー (MENU) ボタンを押すか、約 10 秒何も操作しなければ消えます。
- 「本体操作部」と「リモコン」の操作を両方とも「無効」にした場合、本体操作部のボタンとリモコンボタン操作のすべてが効かなくなるため、電源を「オフ」(スタンバイ状態)にできなくなります。
- 設定が反映されるとオンスクリーンメニューが消えます。継続して操作を行う場合は、メニュー (MENU) ボタンを押してメインメニューを表示させてください。

「ネットワーク」について

「メニュー画面の操作方法」(P.13 ページ)のメインメニューから「ネットワーク」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定してください。



ネットワーク設定

ネットワーク機能を使用する前に、ネットワークの初期設定を行ってください。

- (1) ▲▼ ボタンで「ネットワーク設定」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「ネットワーク設定」画面を表示します。
- (3) ▲▼ ボタンで各項目を選択し、メニューの操作指示に従って設定を変更する

プロジェクター名 (プロジェクター名の表示および設定)	DHCP サーバーを利用する場合などに変更してください。
DHCP (DHCP クライアント機能)	DHCP サーバーを利用し自動的に IP アドレスを取得する場合は DHCP 項目をオンにします。DHCP サーバーを利用しない場合はオフにします。
IP アドレス (IP アドレスの表示および設定)	DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。
サブネットマスク (サブネットマスクの表示および設定)	DHCP サーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ (デフォルトゲートウェイアドレスの表示および設定)	DHCP サーバーを利用しない場合はデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
保存	現在のネットワーク設定を保存します。

- (4) ▲▼ ボタンで「保存」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ:

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワークコントロール

ネットワークコントロール方法を設定します。

- (1) ▲▼ ボタンで「ネットワークコントロール」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「ネットワークコントロール」画面を表示します。
- (3) ▲▼ ボタンで各項目を選択し、◀▶ ボタンで設定を変更する

WEB コントロール	Web ブラウザで制御したい場合「オン」に設定します。
PJLink コントロール	PJLink プロトコルで制御したい場合「オン」に設定します。
コマンドコントロール	シリアル端子の制御コマンド形式で制御したい場合「オン」に設定します。ただし、Web ブラウザコントロールのアドミニストレータ権限のパスワードをなしに設定している場合は、STX の代わりに 2 バイトの "00"、ETX の代わりに改行コード (ODh) を付加してください。Web ブラウザコントロールのアドミニストレータ権限のパスワードをありに設定している場合は、STX の代わりに 32 バイトのハッシュ値と "00"、ETX の代わりに改行コード (ODh) を付加してください。ハッシュ値は "admin1:" とパスワードと ":" と乱数を結合し MD5 で生成したものです。乱数は接続時にプロジェクターから送信される 8 バイトの数値です。
コマンドポート	コマンドコントロールで使用するポート番号を設定します。
保存	現在のネットワークコントロール設定を保存します。

ネットワークステータス

本体のネットワーク状態を表示します。

- (1) ▲▼ ボタンで「ネットワークステータス」を選択する
- (2) エンター (ENTER) ボタンを押す
 - 「ネットワークステータス」画面を表示します。

「ネットワーク」について (つづき)

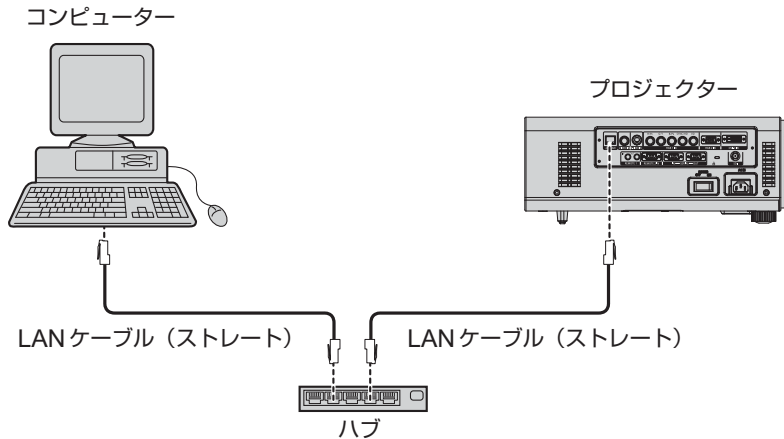
ネットワーク接続

本機はネットワーク機能を備えており、Web ブラウザコントロールを使用してコンピューターから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- プロジェクターが異常時に E メールメッセージを送信

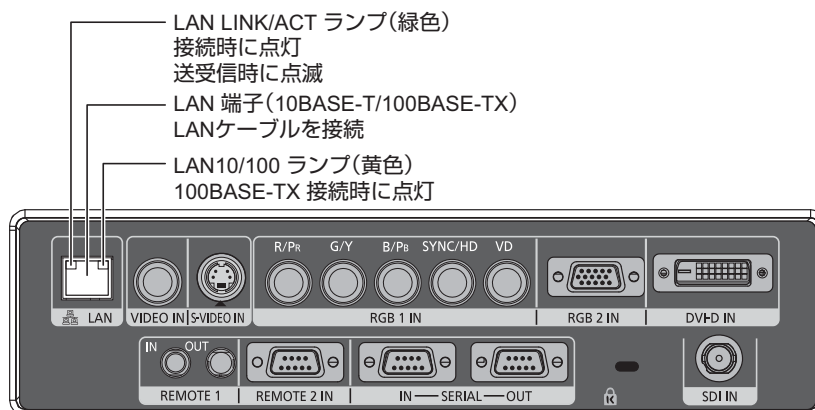
お知らせ：

- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。



- 本機能をご使用になる場合は、Web ブラウザが必要です。あらかじめ Web ブラウザが利用できることを確認してください。
- コンピューターの OS は、Microsoft Windows 98SE/Me/NT4.0/2000/XP/Vista をご利用ください。
- Web ブラウザは Internet Explorer 6.0 以降または Safari 2.0 以降をご利用ください。
- E メール機能をご使用になる場合は、E メールサーバーと通信する必要があります。あらかじめ E メールが利用できることを確認してください。
- LAN ケーブルはストレート結線でカテゴリ 5 以上対応のものをご使用ください。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下のものをご使用ください。

■ ネットワーク機能の各部の名称と働き



お願い：

- 静電気を帯びた手（体）で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子および LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- LAN は屋内の機器に接続してください。

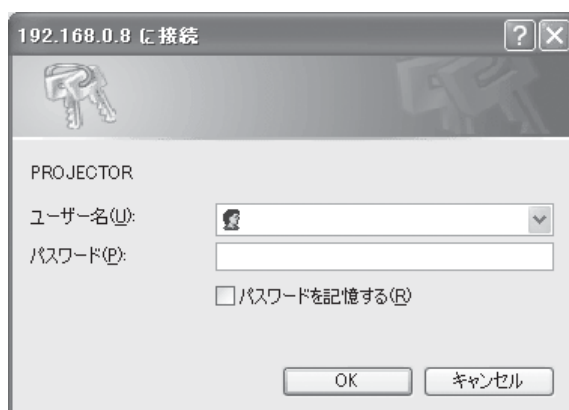
Web ブラウザからのアクセスのしかた

(1) コンピューターの Web ブラウザを起動します。

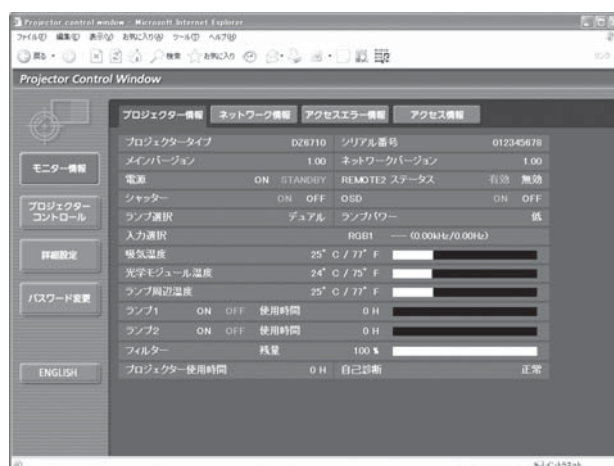
(2) Web ブラウザの URL 入力欄に本機で設定した IP アドレスを入力します。

(3) ユーザー名とパスワードを入力します。

- 出荷時の設定は、ユーザー名：user1（ユーザー権限）/admin1（アドミニストレータ権限）、パスワード：panasonic（小文字）です。



(4) OK を押すとプロジェクター情報ページが表示されます。



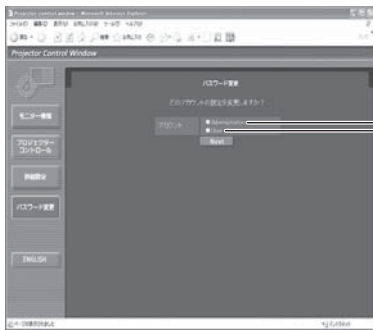
お知らせ：

- Web ブラウザを同時に複数立ち上げて、設定や制御を行うのは避けてください。
- まず最初にパスワードの変更を行ってください。
- アドミニストレータ権限は、全機能を使用できます。ユーザー権限は、「プロジェクター情報」、「エラー情報」、「ネットワーク情報」、「基本制御」、「パスワード変更」のみ使用できます。
- パスワードを 3 回続けて間違えると、数分間ロックされます。

「ネットワーク」について (つづき)

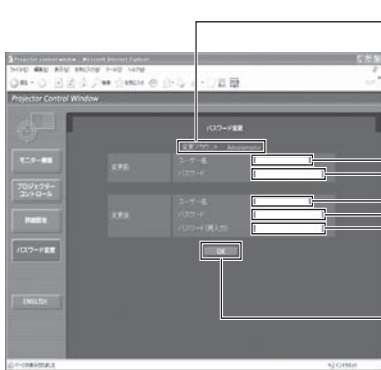
■ ユーザー名パスワード変更ページ

[パスワード変更]をクリックします。



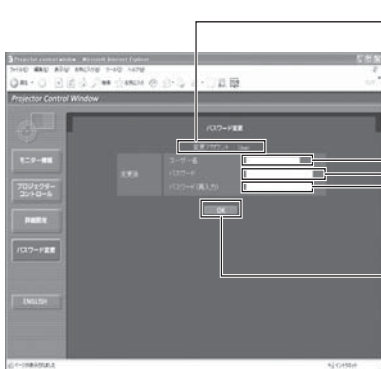
- Administrator(アドミニストレーター)を選択
- User(ユーザー)を選択

● Administrator (アドミニストレータ) について



- 変更を行うアカウントの表示
- 変更前のユーザー名入力欄
- 変更前のパスワード入力欄
- 変更後のユーザー名入力欄
- 変更後のパスワード入力欄
- 変更後のパスワード(確認)入力欄
- パスワード変更実行ボタン

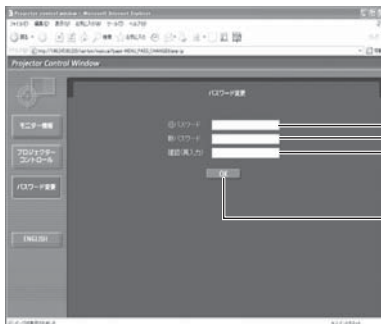
● User (ユーザー) について



- 変更を行うアカウントの表示
- 変更後のユーザー名入力欄
- 変更後のパスワード入力欄
- 変更後のパスワード(確認)入力欄
- パスワード変更実行ボタン

● パスワード変更 (ユーザー権限)

ユーザー権限時はパスワードの変更のみ有効です。



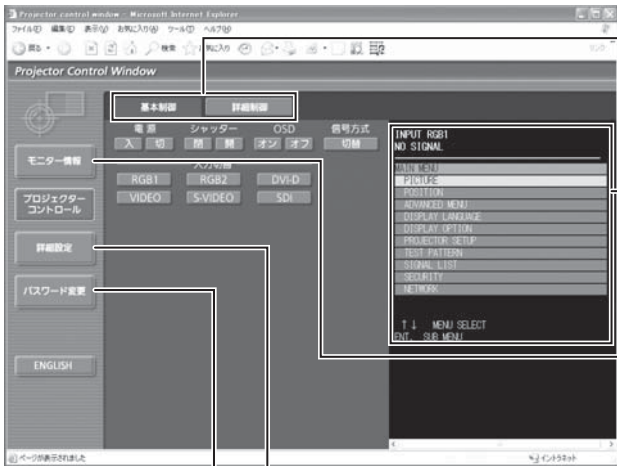
- 旧パスワード入力欄
- 新パスワード入力欄
- 新パスワード(確認)入力欄
- パスワード変更実行ボタン

お知らせ:

- 管理者アカウント変更時は「変更前のユーザー名、パスワード」の入力が必要です。

基本制御ページ

他のページから移行するときは、[プロジェクターコントロール] → [基本制御] をクリックします。



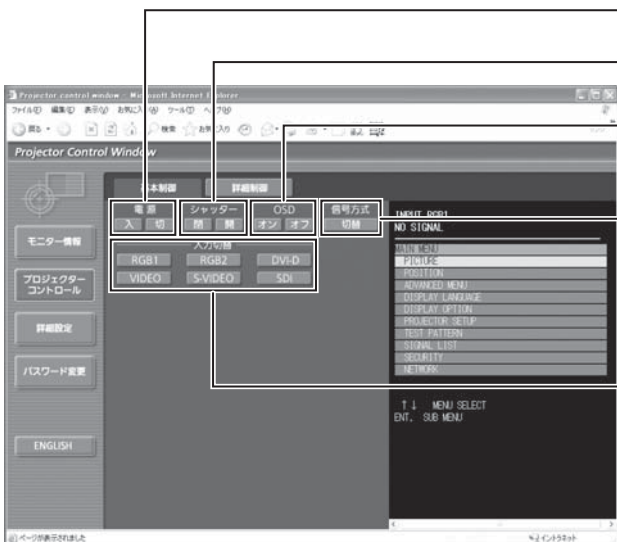
ページ切替タブ
クリックすると、ページが切り換わります。

オンスクリーン状態を表示します。プロジェクターのオンスクリーンがオフに設定されていても表示します。

モニター情報ボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターの状態が表示されます。

詳細設定ボタン
この項目をクリックすると、詳細設定ページが表示されます。

パスワード変更ボタン



電源のオン/オフ操作

シャッターの操作

オンスクリーン表示 (OSD) の表示/非表示の切り換え

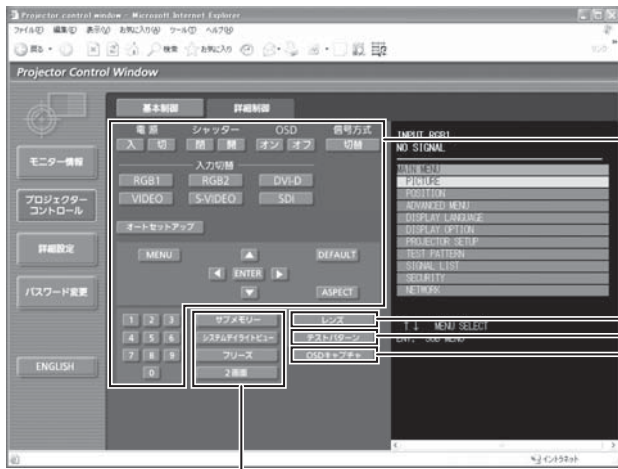
システム方式の切り換え

入力切り換え

「ネットワーク」について (つづき)

■ 詳細制御ページ

[プロジェクターコントロール] → [詳細制御] をクリックします。



リモコンのボタンと同じように各ボタンを押すことによりプロジェクターを制御します。制御後に制御ページ右側のオンスクリーンを更新します。

レンズの調整

テストパターンの表示

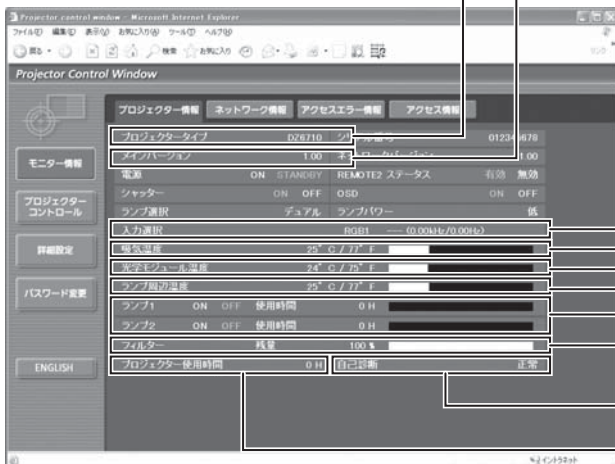
制御ページ右側のオンスクリーンを最新の状態に更新します。

各メニューの表示

■ プロジェクター情報ページ

[モニター情報] → [プロジェクター情報] をクリックします。

以下の項目における本機の状態を表示します。



プロジェクターの種類を表示します。

プロジェクター本体のファームウェアバージョンを表示します。

入力切り換えの状態を表示します。

プロジェクターの吸気温度状態を表示します。

プロジェクターの庫内温度状態を表示します。

プロジェクターの排気温度状態を表示します。

ランプの点灯状態、使用時間を表示します。

フィルターの残量を表示します。

自己診断情報を表示します。

プロジェクターの稼働時間を表示します。

■ エラー情報ページ

モニター情報画面で「エラー (詳細表示)」が表示されたとき、その部分をクリックするとエラー内容が表示されます。

- エラーの内容によっては、プロジェクター保護のためスタンバイ状態になります。



OK : 正常動作
FAILED : 異常発生

● 異常発生 [FAILED] の項目説明 :

項目	説明
MAIN CPU BUS	マイコン回路に異常があります。販売店にご相談ください。
FAN	ファンやファン駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
INPUT AIR TEMPERATURE	吸気温度が高くなっています。暖房機器の近くなど、使用環境温度の高い環境で使用している可能性があります。
OPTICS MODULE TEMPERATURE	本機内部の温度が高くなっています。暖房機器の近くなど、使用環境温度の高い環境で使用している可能性があります。
AROUND LAMP TEMPERATURE	ランプ周辺の温度が高くなっています。排気孔がふさがれている可能性があります。
LAMP1 REMAIN TIME	ランプ使用時間が所定の時間を超過しており、ランプを交換する時期になっています。
LAMP2 REMAIN TIME	
LAMP1 STATUS	ランプ点灯に失敗しています。光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
LAMP2 STATUS	
SHUTTER	シャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
INPUT AIR TEMP.SENSOR	吸気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
OPTICS MODULE TEMP.SENSOR	本機内部の温度感知センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
AROUND LAMP TEMP. SENSOR	排気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
BATTERY	電池交換が必要です。販売店にご相談ください。
AIRFLOW SENSOR	風量センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
COLOR WHEEL	カラーホイールやカラーホイール駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
COVER OPEN	ランプユニット収納扉の取り付けが不完全です。ランプユニット収納扉の取り付けを確認してください。
ACF UNIT	ユニットが装着されていないか、正しく動作していません。詳しくはプロジェクターの取扱説明書をご覧ください。
FILTER REMAIN	フィルター残量が少なくなっています。詳しくはプロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

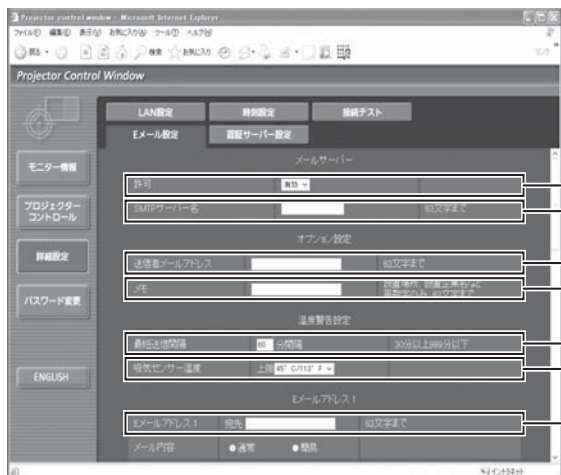
お知らせ :

- アクセスエラー情報/アクセス情報は、過去数千回分のアクセス/リクエストを表示します。一度に多量のアクセス/リクエストが発生した場合は情報からみれる可能性があります。
- アクセスエラー情報/アクセス情報は、定期的に確認してください。

「ネットワーク」について (つづき)

■ Eメール設定ページ

異常時やランプの使用時間が設定値になったとき、あらかじめ設定しておいた E メールアドレス (最大 2 箇所) にメールを送信することができます。
[詳細設定] → [Eメール設定] をクリックします。



Eメール機能を使用する場合は有効を選択してください。

Eメールサーバ (SMTP) の IP アドレスかサーバー名を入力してください。サーバー名を入力する場合は DNS サーバーの設定が必要です。

プロジェクターの E メールアドレスを入力してください。(半角で63文字まで)

Eメールの発信元がわかりやすいようにプロジェクターの設置場所などを入力することができます。(半角で63文字まで)

温度警告メールの最短時間間隔を変更できます。初期値は 60 分です。この場合、温度警告メールを送信後 60 分間は、再び警告温度になってもメールを送信できません。

温度警告メール用の設定温度を変更できます。この値を超えた場合、温度警告メールを送信します。

送信する宛先の Eメールアドレスを入力してください。

Eメールを送信する条件を選択します。

メール内容：

「通常」か「簡易」を選択します。

エラー発生時：

自己診断でエラーが発生した場合

ランプ 1 使用時間：

ランプ 1 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ 2 使用時間：

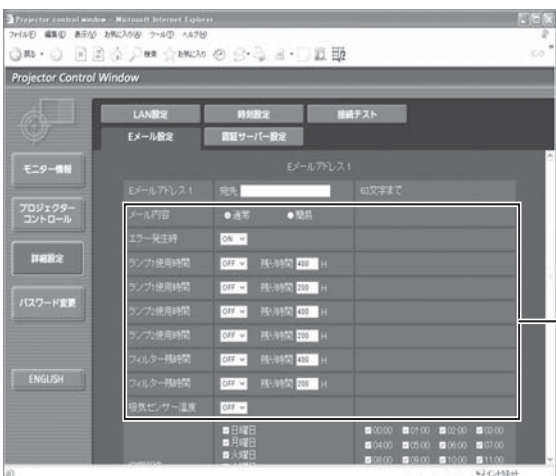
ランプ 2 の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

フィルター残時間：

フィルターの残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

吸気センサー温度：

吸気温度が上欄に設定された値になった場合

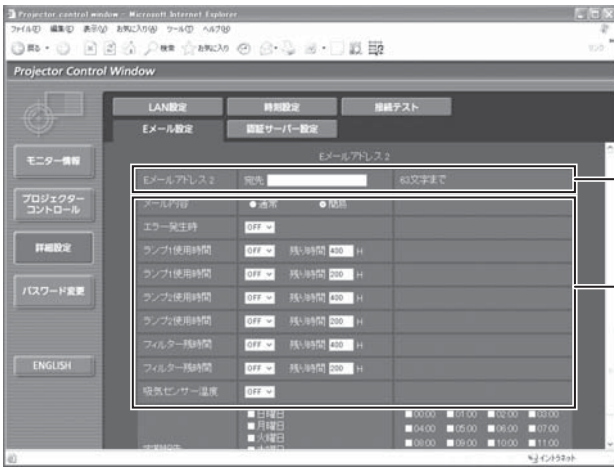




Eメールを定期的送信する場合はチェックします。チェックのついている曜日・時間にメールを送信します。

「ネットワーク」について(つづき)

■Eメール設定ページ(つづき)



2つのEメールアドレスを使う場合に、送信する宛先のEメールアドレスを入力します。2つのEメールアドレスを使わない場合は未記入にします。

2つ目のEメールアドレスにEメールを送信する条件を選択します。

メール内容：

「通常」か「簡易」を選択します。

エラー発生時：

自己診断でエラーが発生した場合

ランプ1使用時間：

ランプ1の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ2使用時間：

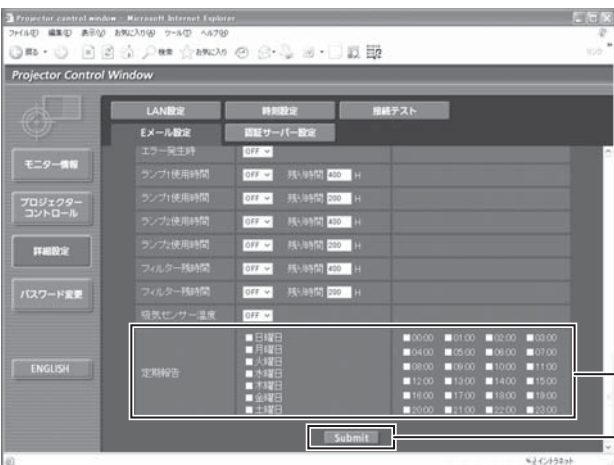
ランプ2の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

フィルター残時間：

フィルターの残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

吸気センサー温度：

吸気温度が上欄に設定された値になった場合

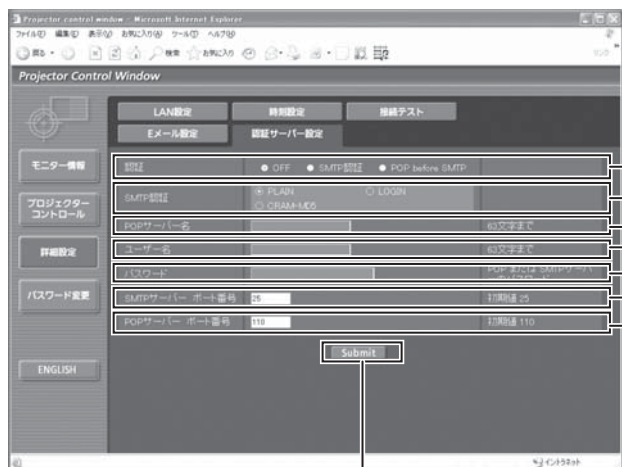


2つ目のEメールアドレスにEメールを定期的に送信する場合はチェックします。チェックのついている曜日・時間にメールを送信します。

全ての入力を終わったら、Submitボタンを押します。

■ 認証サーバー設定ページ

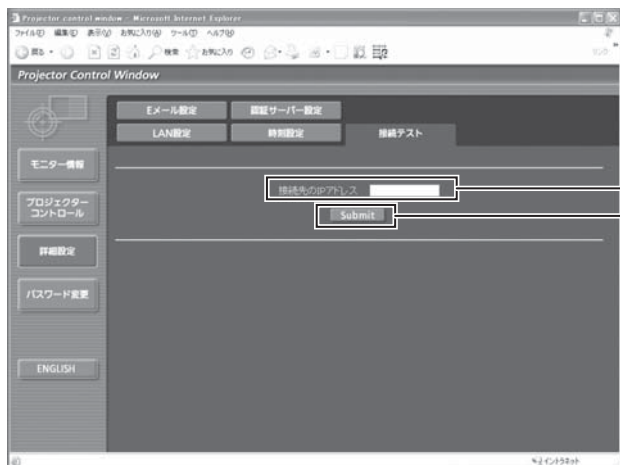
メール送信に POP 認証または SMTP 認証が必要な場合は認証項目を設定します。
 [詳細設定] → [認証サーバー設定] をクリックします。



- インターネットプロバイダー側が指示する認証方式を選択します。
- SMTP 認証を選択した場合に設定します。
- POP サーバー名の入力
使用可能文字：
英数字 (A~Z、a~z、0~9)
マイナス記号 (-) ピリオド (.)
- POP サーバーまたは SMTP サーバーのユーザー名の入力
- POP サーバーまたは SMTP サーバーのパスワードの入力
- SMTP サーバーのポート番号の入力 (通常は25 番です)
- POP サーバーのポート番号の入力 (通常は110 番です)
- 設定の更新ボタン

■ 接続テストページ

メールサーバー、POP サーバー、DNS サーバーなどとネットワークが接続しているかを確認できます。
 [詳細設定] → [接続テスト] をクリックします。



- テストするサーバーの IP アドレスの入力
- テストの実行ボタン

```
PING 198.245.80.10 (198.245.80.10): 56 data bytes
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=0 ttl=255 time=0.7 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=1 ttl=255 time=0.4 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=2 ttl=255 time=0.4 ms
64 bytes from 198.245.80.10: icmp_seq=3 ttl=255 time=0.4 ms
```

— 接続できた場合の表示例

```
--- 198.245.80.10 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.4/0.4/0.7 ms
```

```
PING 198.245.80.100 (198.245.80.100): 56 data bytes
--- 198.245.80.100 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

— 接続できなかった場合の表示例

「ネットワーク」について(つづき)

■送信するメール内容

- Eメール設定を行ったときはこのようなメールを発信します。

```
==== Panasonic projector report(CONFIGURE) ====
Projector Type      :DZ6710
Serial No          :012345678

---- E-mail setup data ----
TEMPERATURE WARNING SETUP
MINIMUM TIME       at [ 60] minutes interval
INPUT AIR TEMPERATURE Over [ 30C / 86F ]

ERROR              [ OFF ]
LAMP1 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 400] H
LAMP1 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
LAMP2 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 400] H
LAMP2 RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
FILTER REMAIN      [ OFF ] at REMAIN [ 400] H
FILTER REMAIN      [ OFF ] at REMAIN [ 200] H
INPUT AIR TEMPERATURE [ OFF ]
PERIODIC REPORT
Sunday [ ON ] Monday [ ON ] Tuesday [ ON ] Wednesday [ ON ]
Thursday [ ON ] Friday [ ON ] Saturday [ ON ]

00:00 [ ON ] 01:00 [ ON ] 02:00 [ ON ] 03:00 [ ON ]
04:00 [ ON ] 05:00 [ ON ] 06:00 [ ON ] 07:00 [ ON ]
08:00 [ ON ] 09:00 [ ON ] 10:00 [ ON ] 11:00 [ ON ]
12:00 [ ON ] 13:00 [ ON ] 14:00 [ ON ] 15:00 [ ON ]
16:00 [ ON ] 17:00 [ ON ] 18:00 [ ON ] 19:00 [ ON ]
20:00 [ ON ] 21:00 [ ON ] 22:00 [ ON ] 23:00 [ ON ]

---- check system ----
MAIN CPU BUS      [ OK ]
FAN [ OK ]
INPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
AROUND LAMP TEMPERATURE [ OK ]
```

- エラーになったときはこのようなメールを発信します。

```
==== Panasonic projector report(ERROR) ====
Projector Type      :DZ6710
Serial No          :012345678

---- check system ----
MAIN CPU BUS      [ OK ]
FAN [ OK ]
INPUT AIR TEMPERATURE [ FAILED ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
AROUND LAMP TEMPERATURE [ OK ]
LAMP1 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP2 REMAIN TIME [ OK ]
LAMP1 STATUS      [ OK ]
LAMP2 STATUS      [ OK ]
SHUTTER [ OK ]
INPUT AIR TEMPSSENSOR [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPSSENSOR [ OK ]
AROUND LAMP TEMPSSENSOR [ OK ]
BATTERY [ OK ]
AIRFLOW SENSOR [ OK ]
COLOR WHEEL [ OK ]
COVER OPEN [ OK ]
ACF UNIT [ OK ]
FILTER REMAIN [ OK ]
(Error code 10 00 00 00 00 00 00)

Input air temperature :29 degC / 84 degF
Optics module temperature :28 degC / 82 degF
Around lamp temperature:19 degC / 66 degF
SET RUNTIME          2000 H
POWER ON 23 times
LAMP1 ON 78 times
LAMP1 LOW 63 H
LAMP1 HIGH 34 H
LAMP1 REMAIN 1924 H
LAMP2 ON 77 times
LAMP2 LOW 61 H
LAMP2 HIGH 34 H
LAMP2 REMAIN 1925 H

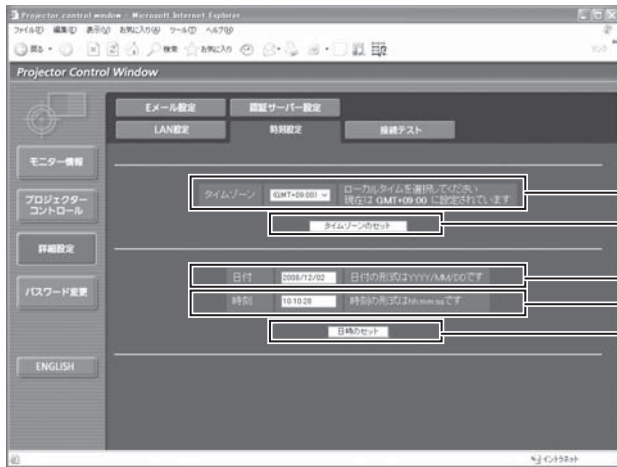
----- Remaining filter -----
QUANTITY 0%
APPROX.TIME 0 H

----- Current status -----
MAIN VERSION 1.00
NETWORK VERSION 1.00
```

調整と設定

時刻設定ページ

[詳細設定] → [時刻設定] をクリックします。



タイムゾーンの選択
(日本は GMT + 09:00)

タイムゾーンの設定更新ボタン

変更する日付の入力

変更する時間の入力

日時設定の更新ボタン

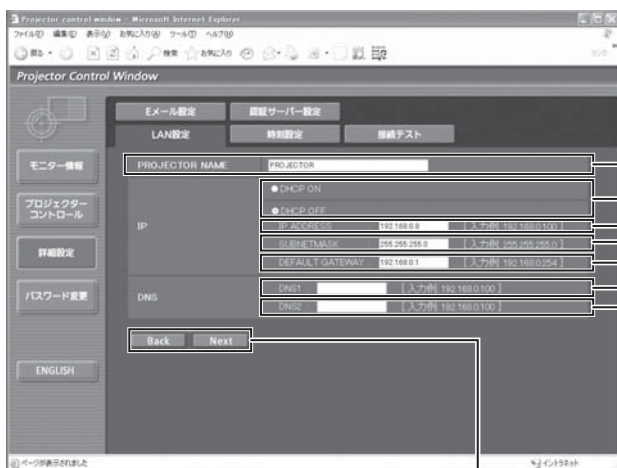
お知らせ:

- 時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、本機内部の電池交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

LAN 設定ページ

[詳細設定] → [LAN 設定] をクリックします。

- [LAN 設定] をクリックすると、「CAUTION!」画面が表示されます。
- Next ボタンを押すと、現在の設定内容が表示されます。
- Change ボタンを押すと、下図の設定変更画面が表示されます。



プロジェクターの名前を入力します。DHCPサーバーを利用する場合などにホスト名が必要であれば入力してください。

DHCPクライアント機能を有効にする場合はONにします。

DHCPサーバーを利用しない場合はIPアドレスを入力します。

DHCPサーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。

DHCPサーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

DNS1サーバーアドレス(プライマリー)の入力使用可能文字:
数字(0~9)、ピリオド(.)
(例: 192.168.0.253)

DNS2サーバーアドレス(セカンダリー)の入力使用可能文字:
数字(0~9)、ピリオド(.)
(例: 192.168.0.254)

Next ボタンを押すと設定の更新画面に移行します。

PJLink™ プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能は PJLink™ クラス 1 に対応しており、PJLink™ プロトコルを使用してコンピューターからプロジェクターの設定やプロジェクターの状態問い合わせの操作ができます。

■ 対応コマンド

PJLink™ プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
POWR	電源制御	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」
POWR?	電源状態問い合わせ	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」 2 = クーリング中 3 = ウォームアップ中
INPT	入力切り換え	パラメーター
INPT?	入力切り換え問い合わせ	11 = RGB1 12 = RGB2 21 = VIDEO 22 = S-VIDEO 31 = DVI-D 32 = SDI (PT-DZ6710 のみ)
AVMT	シャッター制御	パラメーター
AVMT?	シャッター状態問い合わせ	30 = シャッターモード オフ (映像ミュート解除) 31 = シャッターモード オン (映像ミュート)
ERST?	エラー状態問い合わせ	パラメーター 1 バイト目: ファンエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 2 バイト目: ランプエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 3 バイト目: 温度エラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 4 バイト目: カバーオープンエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 5 バイト目: フィルター警告を意味し、0 ~ 2 のいずれか 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 0 ~ 2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない 1 = 警告 2 = エラー
LAMP?	ランプ状態問い合わせ	パラメーター 1 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ 1 使用時間 2 つ目の数字: 0 = ランプ 1 消灯、1 = ランプ 1 点灯 3 つ目の数字 (0 ~ 5 桁): ランプ 2 使用時間 4 つ目の数字: 0 = ランプ 2 消灯、1 = ランプ 2 点灯
INST?	入力切り換え一覧問い合わせ	パラメーターは下記の値を応答します 「11 12 21 22 31」 (PT-DZ6700、PT-DW6300、PT-D6000、PT-D5000 のみ) 「11 12 21 22 31 32」 (PT-DZ6710 のみ)
NAME?	プロジェクター名問い合わせ	「ネットワーク設定」の「プロジェクター名」で設定した名称を応答します
INF1?	メーカー名問い合わせ	「Panasonic」と応答します
INF2?	機種名問い合わせ	「DZ6710」「DZ6700」「DW6300」「D6000」「D5000」と機種名を応答します
INFO?	その他情報問い合わせ	バージョン番号などを応答します
CLSS?	クラス情報問い合わせ	「1」と応答します

■ PJLink™ セキュリティ認証

PJLink™ で使用するパスワードは Web ブラウザコントロールで設定したパスワードと同じです。認証なしで使用する場合は、Web ブラウザコントロールのパスワードをなしに設定してください。

- PJLink™ は、日本、米国、その他の国や地域における出願商標です。

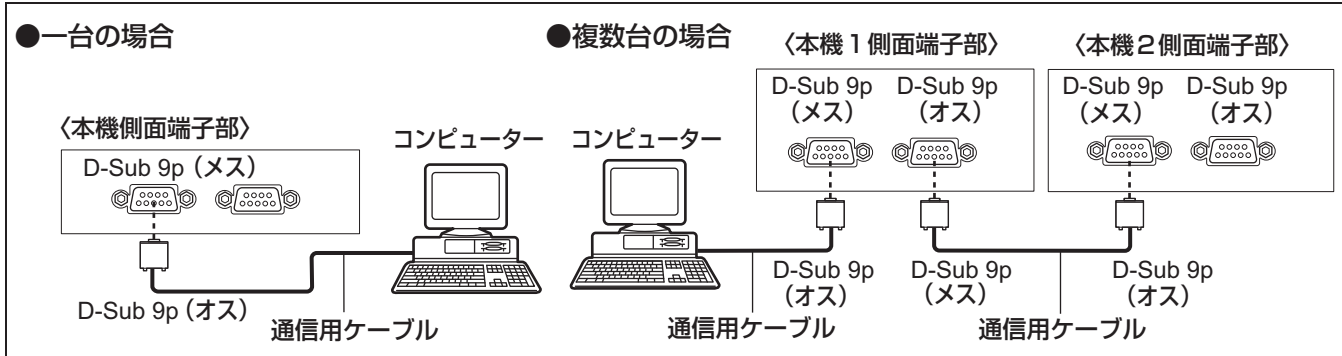
PJLink™ に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。

URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

シリアル端子について

本機接続端子部のシリアル端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して本機をコンピューターで制御することができます。

■ 接続



■ ピン配列と信号名

D-Sub9 ピン (メス) 外側から見た図	ピン NO.	信号名	内容
		①	—
②		TXD	送信データ
③		RXD	受信データ
④		—	内部で接続されています
⑤		GND	グラウンド
⑥		—	NC
⑦		CTS	内部で接続されています
⑧		RTS	
⑨		—	NC

D-Sub9 ピン (オス) 外側から見た図	ピン NO.	信号名	内容
		①	—
②		RXD	受信データ
③		TXD	送信データ
④		—	NC
⑤		GND	グラウンド
⑥		—	NC
⑦		RTS	内部で接続されています
⑧		CTS	
⑨		—	NC

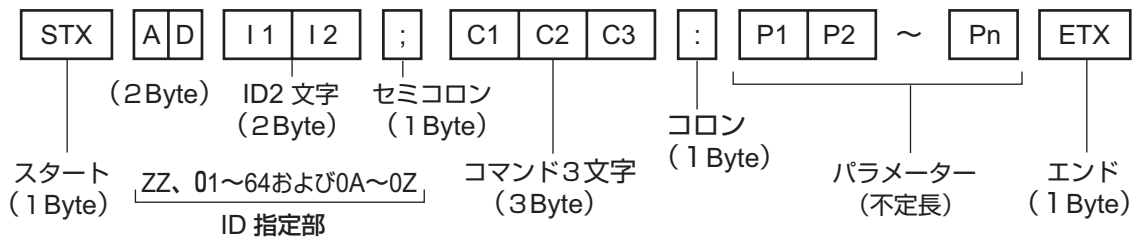
■ 通信条件 (工場出荷設定)

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし

キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

■基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いて ID、コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



お願い:

- ランプ点灯開始直後、約 60 秒経過前にコマンドを送信すると、応答が遅く帰って来たり、コマンドが実行できないことがあります。60 秒経過後に送受信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから 0.5 秒以上経過後に次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン (:) は必要ありません。

お知らせ:

- コマンドが実行できない場合、本機から「ER401」という応答がコンピューター側に送信されます。
- 無効なパラメーターを送信すると、本機から「ER402」という応答がコンピューター側に送信されます。
- RS-232C での ID 送信は ZZ(オール)と 01 ~ 64 および 0A ~ 0Z のグループの対応になっています。
- ID 指定でコマンドを送信した場合、以下のときのみコンピューターへの応答を返します。

本機 ID と一致した場合

ID 指定がオールかつ応答 (ID オール) が「オン」の場合

ID 指定がグループかつ応答 (ID グループ) が「オン」の場合

- STX は 16 進数で 02、ETX は 16 進数で 03 のキャラクターコードです。

■ケーブル仕様

<コンピューターと接続する場合>

1	NC	NC	1
2			2
3			3
4	NC	NC	4
5			5
6	NC	NC	6
7			7
8			8
9	NC	NC	9

本機側

コンピューター側 (DTE仕様)

■制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

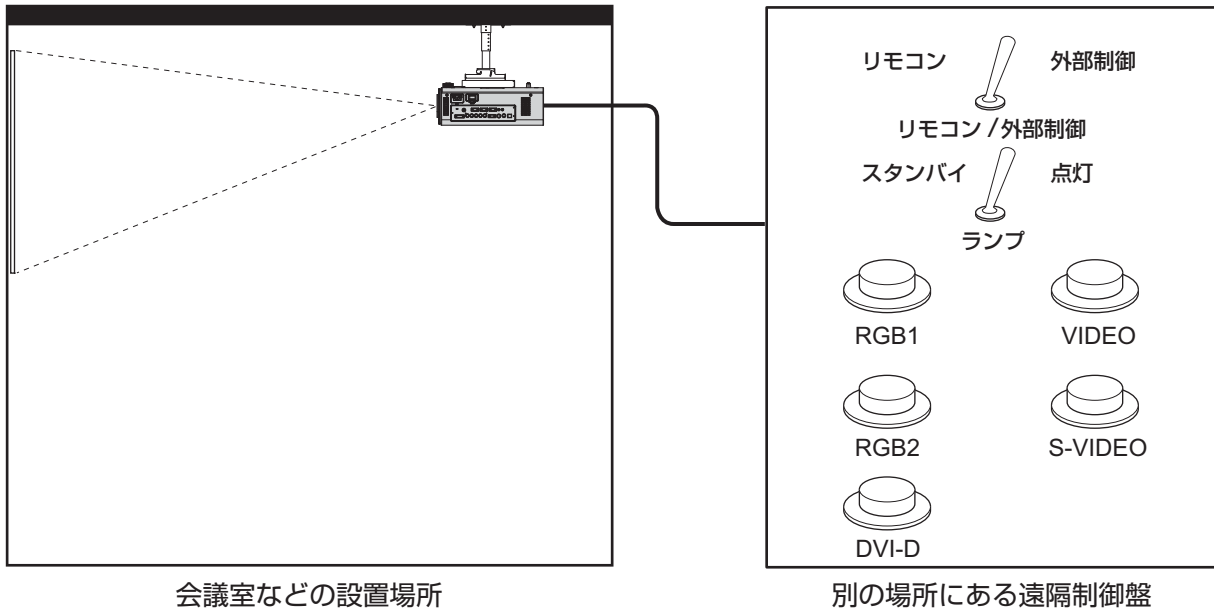
<操作コマンド>

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	電源「入」になっているかを確認する場合は、「電源問い合わせ」コマンドを使用してください。
POF	電源「スタンバイ」	
QPW	電源問い合わせ	000 = スタンバイ 001 = 電源「入」
IIS	入力信号切り換え	VID = VIDEO SVD = S-VIDEO RG1 = RGB1 RG2 = RGB2 DVI = DVI-D SDI = SDI (PT-DZ6710のみ)
QSL	使用ランプモード 問い合わせ	0 = デュアル 1 = シングル 2 = ランプ 1 3 = ランプ 2 * 「シングル」はランプ 1、ランプ 2 のうち使用時間の短い方を使用する。
LPM	使用ランプモード	0 = デュアル 1 = シングル 2 = ランプ 1 のみオン 3 = ランプ 2 のみオン * 「シングル」はランプ 1、ランプ 2 のうち使用時間の短い方を使用する。
OLP*1	ランプ出力設定	0 = 高 1 = 低

* 1 : PT-D5000 では使用できません。

リモート端子について

本体側面端子部のリモート 2 入力 (REMOTE 2 IN) 端子を使用することで、設置場所から離れたリモコンの信号が届かない場所にある制御盤などから、本体を遠隔制御することができます。



■ ピン配列と信号名

D-Sub9 ピン (外側から見た図)	ピン NO.	信号名	オープン (H)	ショート (L)
	①	GND	—	GND
	②	POWER	OFF	ON
	③	RGB1	その他	RGB1
	④	RGB2	その他	RGB2
	⑤	VIDEO	その他	VIDEO
	⑥	S-VIDEO	その他	S-VIDEO
	⑦	DVI	その他	DVI
	⑧	SHUTTER	OFF	ON
	⑨	RST/SET	リモコン制御	外部接点制御

お願い:

- 制御を行う場合は必ず、①番、⑨番ピンを短絡させてください。
- ①番、⑨番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
電源 (POWER) ボタンや SHUTTER ボタンと、これらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。
- ①番、⑨番ピンを短絡させて、さらに③～⑦番ピンのいずれかと①番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
POWER、RGB1、RGB2、DVI-D、VIDEO、S-VIDEO、SDI、SHUTTER ボタン、これらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。

2画面表示組み合わせ一覧表 (PT-DZ6710、PT-DZ6700、PT-DW6300のみ)

入力 A 入力 B	RGB1 静止画	RGB1 動画	RGB2 静止画	RGB2 動画	VIDEO	S-VIDEO	DVI 静止画	DVI 動画	SDI (PT-DZ6710のみ)
RGB1 静止画	×	×	○	○	○	○	○	○	○
RGB1 動画	×	×	○	×	×	×	○	×	×
RGB2 静止画	○	○	×	×	○	○	○	○	○
RGB2 動画	○	×	×	×	×	×	○	×	×
VIDEO	○	×	○	×	×	×	○	×	×
S-VIDEO	○	×	○	×	×	×	○	×	×
DVI 静止画	○	○	○	○	○	○	×	×	×
DVI 動画	○	×	○	×	×	×	×	×	×
SDI (PT-DZ6710のみ)	○	×	○	×	×	×	×	×	×

×：表示できない組み合わせ

「動画」として扱う信号：480i,576i,480p,576p,1 080/60i,1 080/50i,1 080/60p,
1 080/50p,1 080/24sF,1 080/30p,1 080/25p,1 080/24p,
720/60p,720/50p,NTSC,PAL,SECAM,NTSC4.43,PAL-M,PAL-N,PAL60

メニューロックパスワードについて

パスワードをお買い上げ時の設定 (AAAA) に戻すには、メニューロックパスワード要求画面の表示中に以下の操作を行ってください。

- ① リモコンまたは、本体の AUTO SETUP ボタンを 2 秒以上押す
- ② ▼ ボタンを 2 秒以上押す

さくいん

数字		スタンバイモード.....	35	メニューボタン.....	14
2画面.....	32, 62	ステータス.....	36	メニューロック.....	43
A		せ		メニューロックパスワード.....	43
AI.....	18	セキュリティ.....	15, 42	ら	
D		セキュリティパスワード.....	42	ラスターポジション.....	26
DVI-D IN.....	30	セキュリティパスワード変更.....	42	ランプ出力.....	35
R		設置設定.....	33	ランプ選択.....	34
REMOTE2 端子モード.....	35	全ユーザーデータ保存.....	37	ランプリレー.....	34
RS-232C.....	35, 59	全ユーザーデータロード.....	37	り	
S		そ		リモート入力端子.....	61
SDI IN.....	31	操作設定.....	43		
あ		た			
アジャスター脚の調整.....	10	台形補正.....	23		
アスペクト.....	20	て			
アドバンスドメニュー.....	14	テキスト変更.....	43		
い		デジタルシネマリアリティ.....	24		
位置調整.....	14, 20	テストパターン.....	39		
色あい.....	17	デフォルトボタン.....	13		
色温度設定.....	17	と			
色の濃さ.....	16	登録した信号を削除する.....	40		
え		登録信号一覧.....	40		
映像.....	14, 16	登録信号の名前変更.....	40		
映像モード.....	16	に			
エッジブレンディング.....	25	入力解像度.....	25		
お		入力自動セットアップ.....	29		
オンスクリーン表示.....	31	ね			
オンスクリーンメニュー.....	14	ネットワーク.....	15, 44		
か		ネットワークコントロール.....	44		
カラーコレクション.....	29	ネットワークステータス.....	45		
カラーマッチング.....	28	ネットワーク接続.....	46		
き		ネットワーク設定.....	44		
幾何学歪補正.....	22	の			
く		ノイズリダクション.....	18		
クランプ位置.....	25	は			
クロックフェーズ.....	21	バックカラー.....	31		
黒レベル.....	16	ひ			
こ		ピクチャー.....	16		
工場出荷時の状態に戻す.....	13	日付と時刻.....	37		
高地モード.....	33	表示オプション.....	15, 28		
コントラストモード.....	29	表示言語.....	15, 27		
さ		表示言語を切り換える.....	27		
サービスパスワード.....	38	表示設定.....	42		
サブメモリーについて.....	41	ふ			
し		ファンクションボタン.....	37		
システムセレクター.....	19	ファン制御.....	34		
システムデイルイトビュー.....	18	フィルター残量リセット.....	36		
自動調整.....	30	ブランキング.....	24		
シフト.....	20	フリーズ.....	32		
シャープネス.....	18	プロジェクター ID.....	33		
初期化.....	38	プロジェクターセットアップ.....	15, 33		
シリアル端子.....	59	む			
白ゲイン.....	17	無信号自動オフ.....	36		
新規登録.....	40	め			
す		メインメニュー.....	14		
ズーム.....	21	メニュー画面の操作方法.....	13		
スクリーン設定.....	29	メニュー項目.....	14		
スタートアップロゴ.....	32				

商標について

- Microsoft とそのロゴ、Windows、Windows® XP、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では® や TM マークは明記していません。
- Safari は、Apple Computer, Inc. の商標です。

ご注意

- 本製品のマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本製品のマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

パナソニックプロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら **0120-872601** 受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00

URL:<http://panasonic.biz/projector/>

- ※書面や電話/FAXでお答えする場合や、返事を差しあげるお時間を頂くこともございます。
- ※お電話の際には、番号をお確かめの上、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 システムAVビジネスユニット

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話  0120-872-601

© Panasonic Corporation 2009

P0509-4059E
TQBJ0299-3